

令和6年度

事業報告書

社会福祉法人 善隣会

特別養護老人ホーム尚古園
サテライト特養尚古園
尚古園デイサービスセンター
サテライト尚古園デイサービスセンター
グループホーム山径
デイサービスセンター山径
尚古園指定居宅介護支援事業所

園訓

— より大切に

— より優しく

— より早く

目 次

法人本部

1. 善隣会の概要	1
2. 令和6年度事業報告	7
3. 運営組織	8
4. 法人教育・研修体系	10
5. 組織図	11

特別養護老人ホーム尚古園

1. 利用者生活支援状況	12
2. 年間行事予定	17
3. 職員研修状況	17
4. 施設実習受け入れ状況	18
5. 在宅サービス受け入れ状況	19
6. ボランティア受け入れ状況	19
7. 食事と栄養	20
8. ひまわり会（利用者の会）活動状況	21
9. ご家族との連携	22
10. 利用者の状況	23

サテライト特養尚古園

1. 利用者生活支援状況	25
2. 年間行事	28
3. 職員研修状況	28
4. 実習生受け入れ状況	29
5. 利用者の状況	29
6. 運営推進会議の開催	31

尚古園デイサービスセンター

1. 利用者生活支援状況	32
2. 会議開催状況	34
3. 職員研修状況	34
4. ボランティア受け入れ状況	35
5. 利用者の状況	35

サテライト尚古園デイサービスセンター

1. 利用者生活支援状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
2. 会議開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
3. 職員研修状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
4. ボランティア受け入れ状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
5. 利用者の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

グループホーム山径

1. 利用者生活支援状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
2. 会議開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
3. 年間行事・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
4. 職員研修状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
5. 利用者の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
6. 運営推進会議の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44

デイサービスセンター山径

1. 利用者生活支援状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
2. 会議開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
3. ボランティア受け入れ状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
4. 利用者の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46

尚古園指定居宅介護支援事業所

1. 重点目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
2. 給付管理状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
3. 職員研修等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

法人本部



1、善 隣 会 の 概 要

(1) 沿革	昭和 49 年 9 月	社会福祉法人設立認可申請
	昭和 50 年 6 月	社会福祉法人善隣会 設立認可
	昭和 50 年 10 月	特別養護老人ホーム尚古園新築工事着工
	昭和 51 年 6 月	特別養護老人ホーム尚古園完成 事業開始 (50 床) 日本自転車振興会助成、山梨県補助
	昭和 52 年 9 月	特別養護老人ホーム尚古園新館増床要望書提出
	昭和 53 年 4 月	特別養護老人ホーム尚古園新館増床認可
	昭和 53 年 11 月	特別養護老人ホーム尚古園新館工事着工
	昭和 54 年 6 月	特別養護老人ホーム尚古園新館竣工 (30 床) 事業開始 (定員 80 名) 日本自転車振興会助成、山梨県補助
	平成 1 年 12 月	特別養護老人ホーム尚古園スプリンクラー設置 日本自転車振興会助成、山梨県・甲府市補助
	平成 4 年 4 月	尚古園本館給湯給水設備改修、車両財団助成金 甲府市補助金
	平成 12 年 3 月	特別養護老人ホーム尚古園大規模修繕・拡張工事完成 (国保・山梨県・甲府市補助金)
	平成 12 年 4 月	介護保険事業者指定 事業開始 ・介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム尚古園) ・短期入所生活介護 (特別養護老人ホーム尚古園) ・居宅介護支援事業 (尚古園指定居宅介護支援事業所)
	平成 13 年 3 月	尚古園デイサービスセンター・グループホーム山径 整備計画書提出
	平成 14 年 1 月	尚古園デイサービスセンター・グループホーム山径 創設工事着工
	平成 14 年 8 月	尚古園デイサービスセンター・グループホーム山径 創設工事竣工、国庫・山梨県補助金
	平成 14 年 11 月	介護保険事業者指定 事業開始 ・通所介護 (尚古園デイサービスセンター、定員 15 名) ・認知症対応型共同生活介護 (グループホーム山径、定員 9 名)
	平成 15 年 4 月	尚古園デイサービスセンター定員 20 名に変更
	平成 15 年 10 月	尚古園デイサービスセンター定員 25 名に変更
	平成 16 年 3 月	介護保険事業者指定 事業開始 ・通所介護 (緑が丘デイサービスセンター、定員 8 名)
	平成 16 年 11 月	駐車場設置工事着工
	平成 17 年 1 月	駐車場設置工事完成
	平成 17 年 2 月	緑が丘デイサービスセンター定員 10 名に変更
	平成 17 年 11 月	緑が丘デイサービスセンター拡張工事完成
	平成 17 年 12 月	機械浴槽を設置 平成 17 年度年賀寄附配分金
	平成 17 年 12 月	尚古園太陽光発電システム設置 新エネルギー財団・東京電力助成
	平成 18 年 2 月	尚古園エレベーター改修、設置
	平成 18 年 8 月	地域密着型サテライト特養尚古園選定
	平成 18 年 10 月	特養尚古園ショート居室増床工事 (8 床)
	平成 18 年 12 月	ボイラー地上タンク設置、ボイラー改修工事
	平成 18 年 12 月	地域密着型サテライト特養尚古園施設設備費、 甲府市助成金交付内定
	平成 19 年 4 月	サテライト特養尚古園事業開始
	平成 19 年 7 月	尚古園中央デイサービスセンター事業申請提出
	平成 19 年 8 月	尚古園中央デイサービスセンター事業開始 サテライト特養尚古園短期入所生活介護申請 (空床型)
	平成 19 年 9 月	サテライト特養尚古園短期入所生活介護事業開始 (空床型)
	平成 20 年 7 月	特別養護老人ホーム尚古園建物・設備改修工事着工 財団法人車両競技公益資金記念財団補助事業

平成 20 年 8 月	尚古園中央デイサービスセンター競輪公益金補助事業により福祉車両を整備
平成 20 年 11 月	サテライト特養尚古園土地・建物を自己保有資産とする
平成 21 年 4 月	デイサービス山径事業開始
平成 21 年 7 月	サテライト特養尚古園短期入所生活介護休止
平成 21 年 8 月	特別養護老人ホーム尚古園受水槽設置工事開始
平成 22 年 3 月	尚古園デイサービスセンター日本財団補助事業により福祉車両を整備
平成 22 年 8 月	サテライト特養尚古園スプリンクラー設備費、甲府市助成金交付決定
平成 22 年 9 月	特別養護老人ホーム尚古園浴室棟増築工事完成
平成 22 年 11 月	サテライト特養尚古園・尚古園中央デイサービスセンタースプリンクラー設置工事完成
平成 23 年 9 月	サテライト特養尚古園 高圧電気設備の全面更新
平成 24 年 4 月	特別養護老人ホーム尚古園 居室廊下等全面改修工事(8 月終了) 照明器具省エネ改修工事(尚古園・尚古園デイ・グループホーム)
平成 24 年 9 月	尚古園ガス設備工事・業者変更 バルク及び旧配管撤去、新規ガスボンベ保管庫設置(厨房横)
平成 24 年 12 月	尚古園中央デイサービスセンター事業休止
平成 25 年 1 月	サテライト特養尚古園 併設型ショートステイ 6 床開設
平成 25 年 5 月	事業用敷地購入(甲府市緑が丘一丁目 158 番 面積 872.79 m ²)
平成 25 年 8 月	尚古園中央デイサービスセンター事業廃止
平成 25 年 11 月	サテライト特養尚古園 併設型ショートステイ事業廃止
平成 25 年 12 月	特別養護老人ホーム尚古園 中央競馬馬主社会福祉財団補助事業により福祉車両を整備
平成 26 年 4 月	サテライト尚古園デイサービスセンター事業開始(定員 10 名)
平成 26 年 10 月	尚古園空調設備改修
平成 27 年 3 月	サテライト尚古園デイサービスセンター日本財団補助事業により福祉車両を整備
平成 27 年 7 月	サテライト特養尚古園エレベーター改修工事
平成 27 年 10 月	サテライト特養尚古園サッシ入替その他改修工事
平成 28 年 3 月	グループホーム山径エアコン改修工事
平成 28 年 7 月	尚古園短期入所生活介護事業定員変更(定員 8 名→定員 10 名)
平成 28 年 10 月	サテライト特養尚古園多目的室設置工事
平成 29 年 4 月	尚古園、サテライト特養尚古園防犯設備設置工事
平成 29 年 11 月	尚古園居室区分変更工事
平成 29 年 12 月	サテライト特養尚古園ガス給湯器交換工事
平成 29 年 12 月	尚古園デイサービスセンター壁紙張り替え工事
平成 30 年 2 月	尚古園デイサービスセンター昇温配管更新工事
平成 30 年 2 月	尚古園電話設備更新工事
平成 30 年 2 月	尚古園移動式消火設備設置及び火災通報装置連動工事
平成 30 年 4 月	サテライト特養尚古園ガス給湯器交換工事
平成 30 年 5 月	サテライト特養尚古園 2 階、3 階手すり設置工事
平成 30 年 8 月	サテライト特養尚古園排水管改修工事
平成 30 年 10 月	尚古園玄関自動ドア電気錠設置工事
平成 30 年 12 月	尚古園機械浴入れ替え工事
平成 30 年 12 月	尚古園換気扇改修工事
平成 31 年 3 月	尚古園ガス給湯器取替工事
令和 1 年 9 月	緑が丘デイサービスセンター事業休止
令和 2 年 2 月	緑が丘デイサービスセンター事業廃止
令和 3 年 1 月	尚古園プレハブ面会室設置(新型コロナウイルス感染対策用)
令和 3 年 12 月	尚古園新館屋上北側防水改修工事
令和 4 年 1 月	尚古園指定居宅介護支援事業所移転
令和 4 年 3 月	尚古園入所定員増(84 名)認可(尚古園ショートの特養転換)
令和 4 年 3 月	基本財産の処分(尚古園の進入道路(266.5 m ²)を山梨県に売却)
令和 5 年 2 月	尚古園 LED(省エネ設備)改修工事
令和 5 年 3 月	尚古園静養室及び居室プライバシー改修工事

令和5年 3月 尚古園見守りカメラ導入及びWi-Fi環境整備工事
 令和6年 3月 尚古園デイ ICT（介護記録システム）導入
 令和6年 10月 サテライト尚古園居宅介護支援事業所事業開始
 令和7年 1月 サテライト尚古園見守りカメラ導入及びWi-Fi環境整備工事
 令和7年 3月 尚古園入所定員増（88名）認可（尚古園ショートの特養転換）

(2) 規 模 敷 地 面 積

甲府市和田町 2948 - 6 外（一部借地） 7,303.48 m²
 甲府市緑が丘 1 丁目 158 番 2, 4, 11, 13 872.79 m²
 甲府市中央 1 丁目 446 番地 505.11 m²

延 床 面 積

特別養護老人ホーム尚古園 3,056.31 m²
 尚古園デイサービスセンター 389.85 m²
 グループホーム山径 473.91 m²
 サテライト特養尚古園 923.62 m²
 サテライト尚古園デイサービスセンター 220.20 m²

(3) 法人の概要

法人本部・事業所の所在地	本部・主たる事業所	山梨県甲府市和田町2948番地の6			
	サテライト特養 サテ・デイサービス他	山梨県甲府市中央1丁目16番地2			
代表者名	廣 瀬 朱 實	法人認可年月日	昭和50年6月24日	法人登記年月日	昭和50年7月9日

(4) 法人の実施事業

事業の種類		施設・事業種別	名称	施設長名	定員
社会福祉事業	第一種社会福祉事業	介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム尚古園	西山高美	88名
		介護老人福祉施設	サテライト特養尚古園	清水 努	20名
	第二種社会福祉事業	短期入所生活介護事業 (介護予防含)	特別養護老人ホーム尚古園	西山高美	2名
		短期入所生活介護事業	サテライト特養尚古園 短期入所生活介護事業所	清水 努	(空床型)
		通所介護事業 (介護予防・総合事業含)	尚古園デイサービスセンター	草場裕美子	25名
		通所介護事業 (介護予防・総合事業含)	サテライト尚古園デイサービスセンター	小川ひろみ	10名
		認知症対応型 共同生活介護事業	グループホーム山径	相原 司	9名
		認知症対応型 通所介護事業	デイサービスセンター山径	相原 司	3名
公益事業		居宅介護支援事業	尚古園指定居宅介護支援事業所	中村晃紹	—
		居宅介護支援事業	サテライト尚古園居宅介護支援事業所	三森千春	—

(6) 理事会・評議員会開催状況

(理事会)

開催年月日	出席者数	議 決 事 項
令和6年5月21日	理事 5名 監事 2名	・ 令和5年度 事業報告について ・ 令和5年度 決算報告（監査報告）について ・ 定時評議員会の招集と提出議案について
令和6年10月29日	理事 6名 監事 2名	・ 令和6年度補正予算について ・ 善隣会諸規定の一部改正について ・ 臨時評議員会の招集と議題決定について（決議の省略）
令和7年3月23日	理事 4名 監事 1名	・ 令和6年度補正予算について ・ 令和7年度事業計画について ・ 令和7年度予算について ・ 理事の退任及び次期理事候補者の選任等について ・ 臨時評議員会の招集と議題決定について（決議の省略）

(評議員会)

開催年月日	出席者数	議 決 事 項
令和6年6月16日	評議員6名 理事 2名 監事 2名	定時評議員会 ・ 令和5年度事業報告について ・ 令和5年度決算（監査報告）について
令和6年11月8日	評議員7名	臨時評議員会（決議の省略） ・ 令和6年度補正予算について ・ 善隣会諸規定の一部改正について
令和7年3月31日	評議員7名	臨時評議員会（決議の省略） ・ 令和6年度補正予算について ・ 令和7年度事業計画について ・ 令和7年度予算について ・ 理事の退任及び次期理事候補者の選任等

(7) 法人経営会議開催状況

開催年月日	議 事
令和6年4月26日	年度初めに当たって、施設内、居室内の清掃について、処遇改善支援補助金及び処遇改善加算の計画書及び給与規程の一部改正の周知について、賞与支給に関する勤務評価表の提出、人事について、事業所一覧、法人経営状況報告、ほか
令和6年5月24日	理事会報告、事業所5S取り組み、定時評議員会の開催について、令和5年度決算報告、書類の整理について、在宅部門の状況について、令和5年度事業報告、人事について、ほか
令和6年6月28日	評議員会報告、夏季賞与の支給について、経費節約について、処遇改善加算・特定処遇改善加算・ベースアップ支援加算の支給・調整について、在宅部門の状況について、鈴木財団車両助成決定について、カスタマーハラスメント相談事業について、人事について、6月賞与分の勤務評価の結果について、法人経営状況報告、節電対策についてほか
令和6年7月26日	公用車の運転について、感染症の予防対策及び水分補給について、介護保険制度改正に伴う対応について、令和6年度省エネ・再エネ加速化事業費補助金交付決定について、在宅部門の状況について、人事について、法人経営実績報告、デマンドの管理についてほか
令和6年8月23日	新型コロナウイルス感染症対応、5S活動について、自転車のヘルメット着用について、職員の紹介について、在宅部門の状況について、人事について、技能実習生について、法人経営状況報告、令和6年度補正予算調書ほか
令和6年9月27日	居宅支援事業所の新設について、理事会の開催について、全国社会福祉法人経営者大会の参加報告、秋の全国交通安全週間について、人事について、山梨県最低賃金変更に伴う雇用契約の変更について、法人経営状況報告、特定適用事業所の対応について、甲府市社協表彰、法人感染員会（インフルワクチン接種）ほか
令和6年10月25日	上半期の経営状況報告、第1次補正予算報告・予算請求の結果について、運営指導（居宅）、指導監査（法人）の結果について、法人パンフレットの更新について、サテライト尚古園居宅介護支援事業の開所について、在宅部門の状況について、人事について、賞与支給に関する勤務評価表の提出について、法人経営状況報告、インフルエンザ予防接種の助成について、表彰（知事、県社協）について、ほか
令和6年11月22日	賞与の支給について、職員健康診断結果について、雇用に関する意向調査の実施について、インフルエンザ予防接種について、在宅部門の状況について、人事について、12月賞与の査定結果について、法人経営状況報告、令和7年度予算調書提出、尚古園デイ和室、グループホーム山径居室改修工事について、競輪とオートレース補助事業活用した福祉車両の納車についてほか
令和6年12月27日	令和7年度に向けて、感染症対応について、令和6年度甲府市介護サービス指定候補事業所公募について、公用車使用する職員の運転免許証の写しの提出について、在宅部門の状況について、第三者委員の開催について、人事について、g B i z I Dについて、法人経営実績報告ほか
令和7年1月24日	感染予防・感染対策の徹底について、会計事務所の報告について、令和7年度稼働目標の設定について、在宅部門の状況について、人事について、法人経営実績報告、利用料の改修について、経営会議議事録の周知について、令和7年度法人委員会の報告について、令和7年度予算調書の提出についてほか
令和7年2月28日	令和7年度事業計画の作成について、令和7年度事業計画の重点目標：職場環境改善への取り組みについての対応について、共有フォルダの移設について、重要事項説明書のHPへの掲載について、令和7年度法人委員会及び会議の開催について、在宅部門の状況について、令和7年度法人事業方針について、人事について、法人経営実績報告、全体会議の開催について、給食委託業者の材料費及び管理費の値上げに伴う食事代の値上げについて 令和6年甲府市公募事業の選定結果についてほか
令和7年3月28日	令和6年度総括、決算賞与について、令和7年度介護職員処遇加算に係る処遇改善手当の支給について、介護人材確保・職場環境改善事業補助金に対する取り組み及び支給について、在宅部門の状況について、人事について、令和7年度年度初め式・辞令交付式について、法人経営状況報告、法人委員会について、法人理事会について、事業報告書の作成についてほか

(8) 善隣会職員数 (令和7年3月31日現在)

事業所	職員数					異動 (年間)			
	正職員	嘱託職員	パート	非常勤	合計	採用	退職	異動 出 入	
法人本部	1	1	1	0	3	1	1	1	1
特別養護老人ホーム 尚古園	37	8	9	2	56	7	10	0	0
サテライト特養 尚古園	9	3	2	0	14	0	0	0	0
尚古園デイサービスセンター	5	3	2	0	10	0	1	0	1
サテライト尚古園デイサービス	2	1	3	0	6	5	3	0	0
グループホーム山径	7	1	1	0	9	0	0	1	0
尚古園居宅介護支援事業所	0	1	0	0	1	0	1	0	0
サテ尚古園居宅介護支援事業所	1	0	0	0	1	1	0	0	2
合 計	62	18	18	2	100	14	16	2	4

2、令和6年度事業報告

令和6年4月1日～令和7年3月31日

今年度は、介護保険の制度改正が行われましたが改正の内容は、介護データ基盤の整備や財務諸表の報告の義務化など介護保険制度への対応について大幅な変化があり、また、科学的介護情報システムである「LIFE」についても対応方法が変更となるなど、例年の制度改正対応以外の項目も含まれており、業務の煩雑化と業務負担が増加となった1年でありました。

具体的には、介護保険制度の電子申請対応や財務諸表などの経営情報の報告など、指定権者である甲府市からの指示に従い新たな対応が出来る体制を整えるとともに、全ての事業所が加算対応となるLIFE関連についても、報告内容の変更と提出タイミングの変更への対応、また、介護職員等の処遇改善として平成24年から開始した介護職員処遇改善加算、令和元年からの介護職員等特定処遇改善加算、令和4年からベースアップ等支援加算についても、今年度のから一本化されることとなり、新たな処遇改善加算の対応が求められることとなりました。

また、介護分野における生産性向上も令和6年度改正の重点項目であります。善隣会においても数年前から介護サービス事業所の生産性の向上についての助成制度を活用しながら取組みを実施しており、今年度においても、サテライト拠点での事業整備を実施することで介護テクノロジーの推進を図るとともに働きやすい職場環境整備を実現しております。

その他制度改正への対応については、運営基準の変更や介護報酬に係る加算や減算対応が求められておりましたが必要な対応を適切に実施しております。

次に感染症についての対応は、今年度の重点目標である経営の安定化においても感染症対策の徹底を図るとして取り組んでおりましたが、特別養護老人ホーム尚古園で、12月中旬から1月上旬にかけて施設内でコロナウイルスとインフルエンザの感染者が確認され、クラスターとなり多くの方が感染する事態となりました。世間では新型コロナウイルスは5類として受け止めが軽くなっておりますが、抵抗力の弱い高齢者施設では感染力の高いコロナウイルス等の感染症は瞬く間に広がってしまうため感染症対策の重要性と難しさを痛感した一年でありました。

感染症対応については、前年度と同様に多くの方にご迷惑をお掛けする結果となってしまいましたが、引き続き対応して参ります。

最期に、令和6年度の経営状況についての詳細は後述しますが、年度末における活動増減差額が1,656,556円であり、前年度の△19,368,192円と比較して大幅な改善を図ることが出来ております。

重点目標について

1、健全な法人経営の推進

持続可能な法人経営の推進を目的として、法人経営の安定化、人材育成、働きやすい職場づくりを掲げて、全職員が一丸となって経費の節減や稼働目標の達成等に向けて取り組んでまいりましたが、今年度の介護保険事業収益は644,722千円で前年度627,002千円から17,720千円の増収、サービス活動収益は644,962千円と前年度を16,014千円上回る結果となりました。

支出関連はサービス活動費用の年間支出合計は646,224千円であり、内容については人件費447,557千円、事業費105,292千円、事務費71,354千円でありました。前年度と比較してそれぞれ人件費について△15,244千円、事業費について5,419千円、事務費について5,710千円の増減となり、支出総額では前年度と比較して4,231千円の減少となりました。

今年度の当期活動増減差額（当期純利益）は 1,656 千円という結果となりましたが、この結果についての大きな要因は介護保険収入が年間を通じて安定して確保ができたことによります。

今後も安定した稼働を維持できるように取組んでまいります。

なお、資金収支計算書の事業活動収支差額は、6,563 千円でありましたが、令和 6 年度はサテライトのテクノロジーの関連の導入支出が 8,140 千円、尚古園のガス式乾燥機 1,925 千円の入替え、改修工事として尚デイ 7,005 千円、グループホーム 5,813 千円の支出、デイサービスの送迎車両 3,070 千円の入替え支出があり、その他を合計して施設整備関係の収支差額が△16,227 円（補助金額合計 12,226 千円を除く）であり、当期末の資金収支差額の合計は△8,748 千円となりました。

2、介護保険運営基準の改正に伴う取り組み、及び ICT 導入の推進・介護 I C T の導入について

前述のとおり適切に対応しております。

3、新規事業等の対応について

① 居宅介護支援事業所の新設について

令和 6 年 9 月に甲府市に新設申請を行ったサテライト尚古園居宅介護支援事業所は、令和 6 年 10 月に指定許可を受け運営を開始しております。甲府市中央を所在地とする同支援事業所は当初の目的のとおり甲府市中心部の運営拠点として、甲府市中央部の居宅支援事業所や利用希望者の受け入れ窓口として順調に運営が行われております。

② 介護老人福祉施設に併設する既存の短期入所生活介護からの転換

第 9 次甲府市介護保険事業計画に特養待機者の削減及び家族介護者の負担軽減を目的とし、併設型施設等の介護福祉施設への転換整備事業が公募されました。

今年度の事業計画では予定されておりましたが、特別養護老人ホームの増床は施設運営において有効であるため、令和 6 年 12 月に応募し、一次・二次審査を経て選定となりました。

令和 7 年 3 月より、特別養護老人ホーム尚古園の入所定員は 88 名となりました。

3、運 営 組 織

委 員 会

〈第三者委員会〉

苦情などの適切な解決を目指し対応してきた。年 2 回（8 月と 2 月）開催され「苦情申し立て」について報告がされた。また、苦情とは別に利用者等から寄せられたニーズ等へ対応してきた状況について報告もされた。会議では第三者委員から、より良い支援につなげられるようなアドバイスやご意見を頂いた。

第三者委員会苦情報告件数

（上半期）→①特養…0 件、②サテライト特養尚古園…0 件、③GH 山径…0 件、④尚古園デイ…0 件、⑤サテライトデイ…0 件、⑥山径デイ…0 件、⑦尚古園居宅…0 件

（下半期）→①特養…0 件、②サテライト特養尚古園…0 件、③GH 山径…0 件、④尚古園デイ…0 件、⑤サテライトデイ…0 件、⑥山径デイ…0 件、⑦尚古園居宅…0 件

〈教育・研修委員会〉

個々の事業の実情に沿った内容で、各事業所リーダーが自事業所の研修を計画し、実践していく形で進めてきた。担当職員にとって、計画～準備～実施～報告の一連の流れを実践し、知識を深め、人に伝える技術などの学びの機会となり、各事業所リーダーのみでなく中堅職員のスキルアップに繋がる貴重な

〈リスク対応委員会〉

高齢者施設において発生しうるリスクに対応するために、総合的にリスクに対応できる委員会として活動を行ってきた。

特に新型コロナウイルス感染症の予防対応については、特養尚古園において2度クラスターが発生してしまい、稼働率低下及び対外的な課題が生じてしまった。今回のクラスターを教訓に今後の感染対策を徹底するとともに、感染者が発生した際の対応を踏まえた業務継続計画（BCP）の見直しなど、高齢者事業所として安全に安心して利用していただける対策の必要性を感じている。

〈衛生委員会〉

今年度の労働衛生目標として、職員の健康診断の活用促進を目的として1年間取り組んできた。産業医からも有所見者に対して健診結果のフォローアップを行うなど、きめ細やかな対応が実施できた1年であった。

また、腰痛対策として前年度から継続して腰痛検査や腰痛予防の指導を行っているが、比較的、軽微な腰痛を抱える者が多くおり現状維持といった結果である。外国人技能実習生からも腰痛を訴える者がおり、技能実習生に対する指導については今後の課題として取り組む必要があると感じた。

メンタルヘルス対策については、産業医からは高ストレス者の相談はないと報告があるが、ストレスチェックの結果が必ずしもメンタル不調に繋がっているかの判断は難しいため、各事業所の管理者等を中心に職員の様子観察に気を配っていききたい。

会 議

〈法人経営会議〉

理事長・常勤理事及び各事業所の管理者等で構成し、法人運営の最高決定機関として、法人事業全体の適切な運営及び経営について協議を行った。

理事長及び業務執行理事から経営状況や当面する課題や人事を中心とする組織運営状況、法人事務局長から介護事業収入状況や介護情報の提供が行われた。また、各事業所の稼働状況（稼働率）への対応や施設整備に関する協議、また、直面している各種課題についての協議・検討を行い、積極的な議論の場としての活用を図る中で重要業務の意思決定を行ってきた。

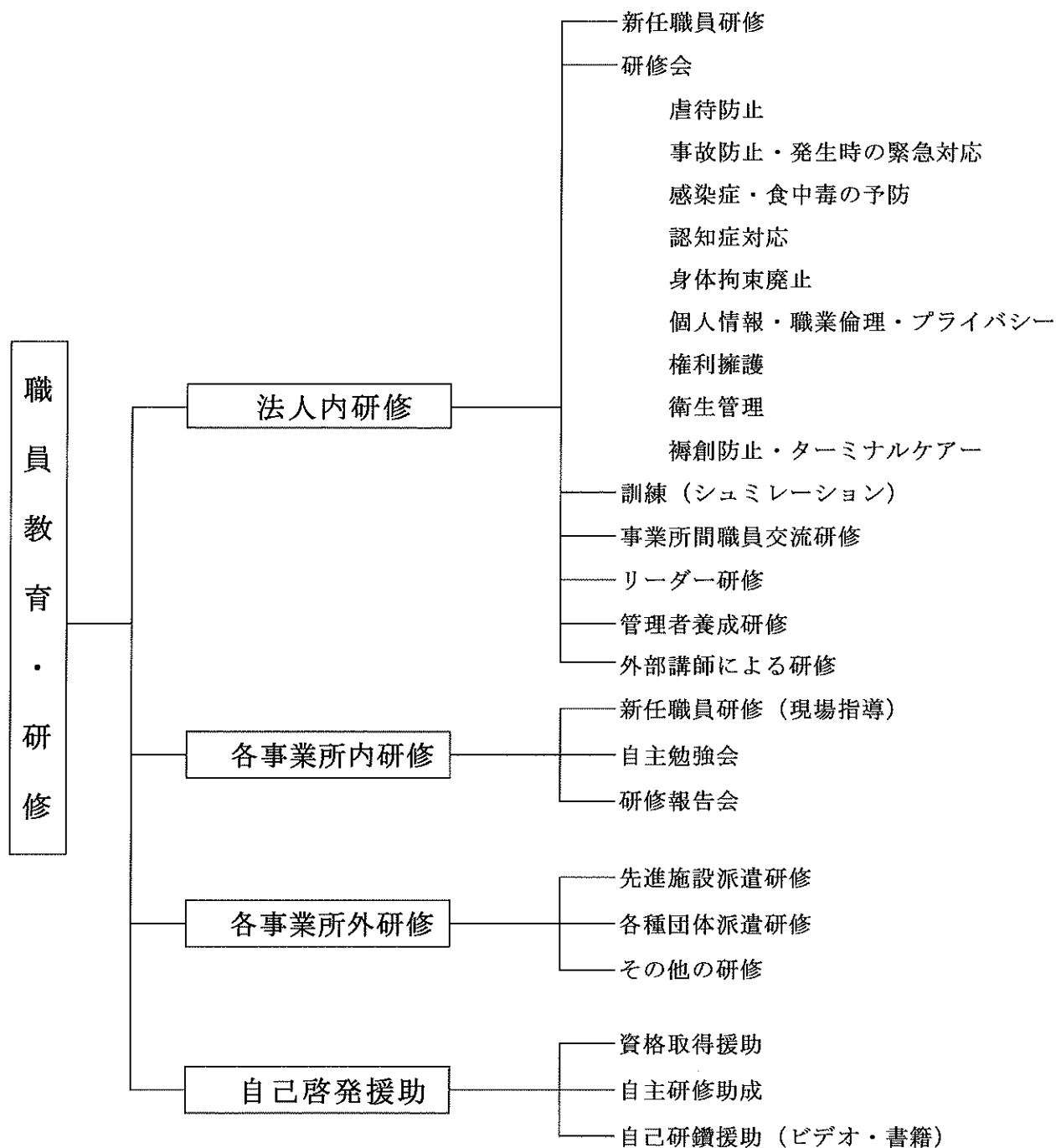
昨年度、超過勤務の申請件数が多かったため、会議内で超過勤務の状況を報告するなど、超過勤務の減少についての取組みを実施した。

〈在宅サービス連絡会議〉

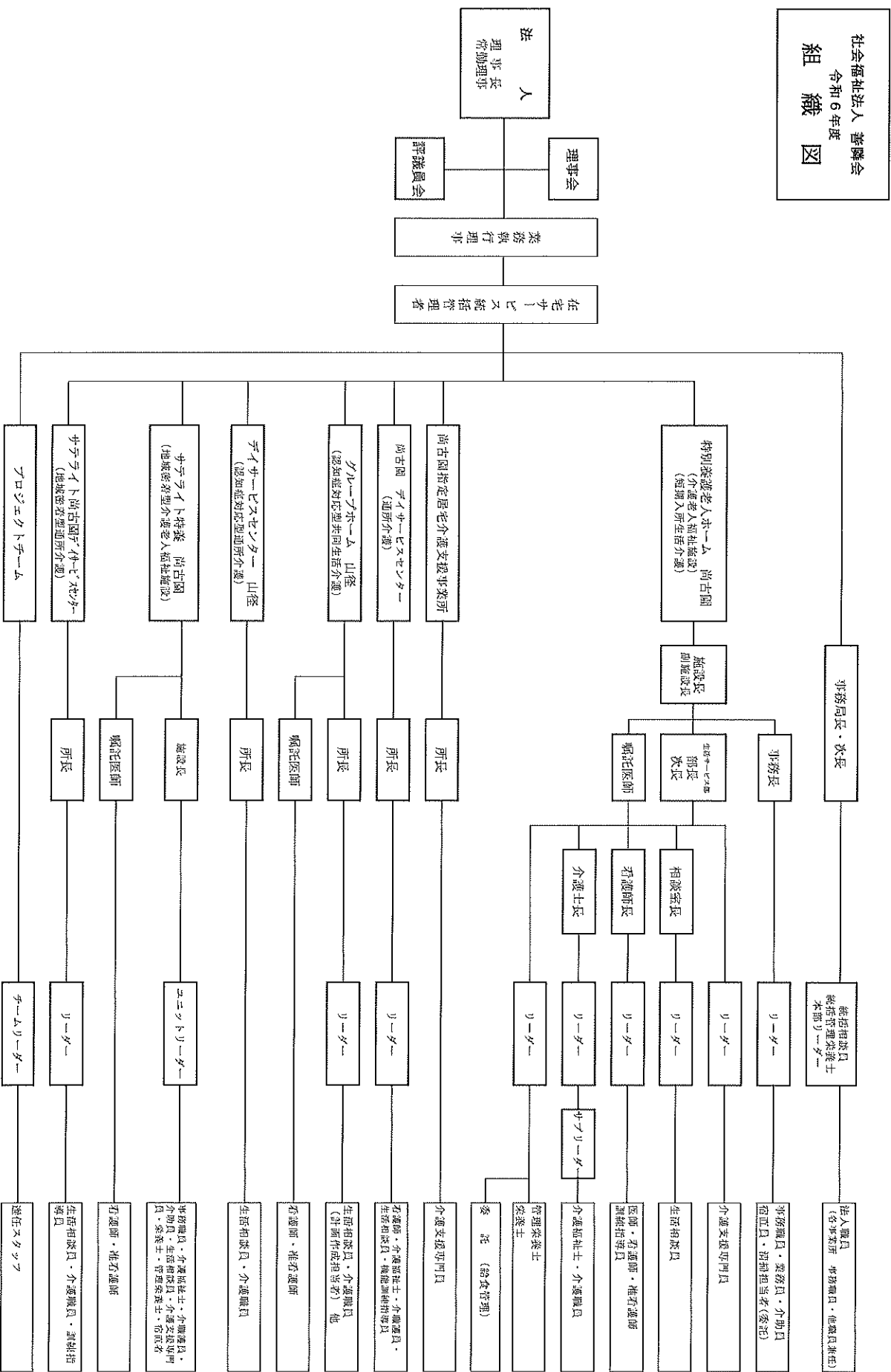
各事業所の運営者・生活相談員等で構成し、各事業所の持つ情報を共有しつつ協力し合い、多様化する利用ニーズに合うサービス提供やより良いケア実践を行うための検討と意見交換の場として開催した。

今年度はサテライト尚古園居宅介護支援事業所を開設し、甲府の中心部から東方面おける在宅サービスの充実に向け関係機関等々の連携を行ってきた。

(福) 善隣会 令和6年度職員教育・研修体系



社会福祉法人 善隣会
令和6年度
組織図



特別養護老人ホーム尚古園



1、利用者生活支援状況（報告）

（1）支援方針総括

『ご利用者の立場に立った生活支援をすすめること』を基本とし、施設サービス計画に基づき一人ひとりに適した速やかで柔軟性のある援助を効果的に行うため、多職種間の連携を密にして心身の健康保持と自立支援に努め、生活の活性化が図れるように取組みを進めた。

今年度も施設内で新型コロナウイルス、インフルエンザのクラスターが発生し、ご利用者や関係者に対してご迷惑やご心配をかけてしまったことを深く反省し、今後もクラスターを起こさない様、感染対策に努めて行きたい。感染症対策の重点目標としてBCP（業務継続計画）を定めていたが、外部支援団体の指導を受けて施設内でのルール、対応など、見直しを行ったが、今後も継続し見直しを行っていく必要があると感じる。

ICT活用による科学的介護の取組みは、尚古園は比較的、早くに導入を進めており一定の成果は得られていると思うが、科学的介護の取組みが実現できているかは、導入したICT機器を有効に活用することと、導入した機器に連携できる機器を導入していく等まだ課題が多いと感じる。

あと、昨年も同様であったが、大きな課題としてご利用者の入院者が年々増加していることについては、ご利用者が安心して生活できることへの対応として重要であることは当然であるが、法人運営の中心を担う尚古園の稼働が安定しないことは、法人の屋台骨が揺らぐことに直結する事態として重く受け止めなければならない。

以上、今年度は次年度に向けて課題が多い1年であったと思うが、全ての課題を一度に解決することは出来ないで、人事や設備更新など、ひとつひとつ解決に向けての取組みを進めていきたいと思う。

また、今年度よりミャンマーの技能実習生を3名受け入れたが、仕事に慣れご利用者からも信頼され、定着することができるよう指導していきたい。

（2）各部署からの報告

<事務>

- ・ 公益財団法人JKAの補助事業に採択され、補助金を受領しての福祉車両1台の取得を行った。また、公益財団法人鈴木道雄記念財団の福祉車両寄贈事業に採択され、福祉車両1台の寄贈を受け、老朽化していた施設の福祉車両の整備に貢献することができた。
- ・ 業務効率化と生産性向上体制推進加算取得に向け、勤怠管理システム導入の為にトライアルを複数社実施し、令和7年度に導入と運用を行うことに決定した。
- ・ 施設として初めて受入れを行った外国人技能実習生3名の3年間の技能実習が修了した。生活指導員として日々の生活や日本語能力向上に携わり、問題なく実習期間を終えることが出来た。
- ・ 新型コロナウイルス及びインフルエンザが施設内で発生した際は、衛生用品の管理・食事提供の補助などサポート業務を積極的に実施した。

<医務>

- ・ リーダー変更に伴い新メンバーでのスタート。今までの医務の在り方を払拭すると共に「誰が主体」になるべきかを念頭に置き他職種が訪室・声をかけやすい環境に変わるよう努力した。
- ・ 医務の中で看護師が気持ちよく仕事ができるよう常に声掛けを怠らず協力体制を整えた。また5S活動として医務室の模様替え物品の整理整頓を行ってきた。
- ・ 朝会は1日の始まりでもあるため「早番」以外は全員参加し情報共有や「礼」に努めた。
- ・ 利用者様の急変時や搬送に介護士が困らない様フェイスシートを用いた「カルテ」作成・診察券・保険証等含む管理がそれ1つでできるよう工夫した。
- ・ 医療度の高い利用者様は特に検査データ等を分析・Dr. 回診時には指示がもらえるように整え御家族の希望される方針に手遅れにならないようケアマネ等に発信した。
- ・ 普段の生活の中で利用者様が「入院」につながらないようケアの注意点や状態を朝会・夕の申し送りで報告・早めの受診を勧めた。
- ・ ケア内容や手技について担当介護士・新人を医務室に個別で招き教育指導にあたった。

- ・「看取り」に関しては看護師と他職種との考えの相違があり医療的ケアマネの考えがあるため難しさを何度か感じ次年度の課題にしていく
- ・感染症に関して「持ち込み」などの際は最小限に感染を悔い止めるよう早期に宿主を発見し対応に努めるようにした
- ・個別で機能訓練を含めたマッサージなどを提供している。

<管理栄養士>

- ・引き続き、栄養マネジメント強化加算の算定を行っている。栄養ケアプロセスにより、科学的根拠に基づいた栄養管理を実践できた。また、施設多職種・給食委託業者との連携により、食事内容や栄養管理について情報交換や課題についての取り組みが実施できた。
- ・栄養カンファレンスを通して、多職種で栄養管理について評価し、改善策を実施することができた。同時に、栄養部門からの栄養管理に関する情報発信を行った。

<介護>

○年度はじめより、前任介護士長の退職にともなう引継ぎを行いつつ、かつ昨年度冬のコロナの影響という課題を抱えつつのスタートをしました。その中で職員指導や感染対策や多職種連動のコミュニケーションなど、各々取り組んできました。そうした中、徐々に職員のご利用者を見る目やチーム内の役割を認識し、気付きと行動を連動させることに繋がられたケースも増えています。3月のコロナ感染の気付きや対応など、一見広まっているように見えますが、介護がいち早く発見し同室内で罹患させなかったケースや発症した部屋から別の部屋への持ち出しも抑えることができているという結果に繋がっています。また初回クラスターに比べ、重症化する方が激減している事から、出来ていることが増えていると評価します。勿論介護だけではなく管理栄養士の朝の情報提供など多職種の連動が成果を上げている事が非常に大きいです。

○係や委員会にリーダーシップをとってもらえるよう働きかけてきました。入浴係の毎月の浴室清掃や、効率的にご利用者にサービスが提供できるような調整なども進めています。余暇生活リハでは掲示物を季節に合わせた掲示ができました。逆に委員会の研修ではコロナの影響を受け、思うように運営を進められなかったことなど課題としてあります。研修については今後対面とオンラインを同時に行い、コロナの影響を受けにくい仕組みを考えていきます。また、担当者の負担を減らすため、複数名での研修責任者を設けた回がありましたが、そうした回の方がうまくいきにくかった反省があり、次年度からは全て一人にしています。

○残念ながら発生した事故による受傷があった際、いち早く痛みの緩和をすることと、介護が最後まで責任を持つという考えのもと、介護職員が可能な限り付き添い受診を行い、医師からの説明をご家族と一緒に受ける事や、直接ご家族にお詫びすること、その後のケアに繋げることを行っています。こうした、ご利用者やご家族の痛み直接向き合う事で、事の大きさや痛みを理解し、その後率先して事故を発生させない努力や、チーム牽引をしていくなどの思いを持ち、介護職の専門性の向上につなげたいと考えています。

※ご利用者を生活の中に積極的に巻き込むについて

○ご利用者と一緒に軽作業をしたり、カートで荷物を運んだり、少し外気浴をしたり、掲示物を作ってもらったりといった機会を持っています。ですが頻度が少ないです。ご利用者と職員とが一緒に何かを行いもっと生活感を出すことが課題と感じています。価値観・感覚的な指導も重要ですが、いつ誰が行うなど、仕組みとしての課題も感じています。来年度の新体制での早い段階での解決をしていきたいです。

※チームコミュニケーションについて

○個人差はありますが、必要な情報発信のタイミング・言葉選びなど考えながら行えています。

自分から発信する責任感をもっている職員も増えたと評価しています。ですが、必要なことが共有しきれていないこともありました。個人の課題や仕組みの課題などありますが、伝えるべき立ち位置で伝えることが苦手な職員こそ伝える機会を設けるなど、引き続き取り組んでいます。

<生活相談員>

- ・ 退所者数は年間 42 名（男性 12 名女性 30 名）と昨年度より 2 名増となった。うち看取りケアは 27 名となり、昨年より 9 名多く対応した。また救急搬送後ご逝去された方が 4 名。体調不良で入院されたが、治療中より医療依存度が高くなるケースが増え、療養可能な施設への移行を選択された方が 7 名いらした。入院中ご逝去された方は 4 名。
- ・ 入所者数は 51 名。ショート新規は 20 名受入れ実績となった。1 年で 71 名の新規契約あり。
- ・ 12 月、2 月と新型コロナウイルス感染症蔓延の為、罹患者、罹患者以外のご利用者様のケアがゆき届かず 1 月～3 月の間 12 名退所となってしまった。2 度にわたる新型コロナウイルス感染症対策が解除となるまで入所、ショート受入れが出来ず稼働率が低下してしまった。
- ・ 入院による空床数は昨年比 501 床減となり、年間平均入所稼働率は昨年度を 0.23% 上回った。

<機能訓練担当>

- ・ 3 か月に 1 度、個別機能訓練計画書を見直すことで、ご利用者の身体能力に見合った訓練計画を立案出来た。また、介護スタッフと協力をしてご利用者の自立支援や安全に繋がる介入を検討・実施した。
- ・ 必要に応じて、補助具や介護用品の必要性を検討し、安全な日常生活動作や安楽な姿勢に繋がるよう対応をした。
- ・ 居室環境・整容などの対応や、重症な方、リハビリに意欲的な方に関わる時間が長くなる、感染対応機会の増加・長期化、などにより 1 週間で全ご利用者に関われないことが多くあった。
- ・ 感染対応時、離床して過ごせる方が臥床していたり、歩ける方が車イスで過していたり、など廃用に至る対応が起こってしまった。また、感染対応終了後に速やかに元々行っていた日常生活動作を再開できなかったことは今後の課題。

<介護支援専門員>

- ・ 長引く感染対策について、ご本人、ご家族の立場に立って多職種と連携し面会や外出が出来るように、機能訓練の実施依頼、担当職員による自宅への付添い等を積極的に取組んだ。（年間外出 3 件）
- ・ ご利用者の希望する活動が提供できる様に、サービス担当者会議等を通じ、多職種と連携し、具体的な計画を立案し、実施につなげている。（日常的な歩行訓練等の実施）
- ・ 認知症状等により、混乱が見られたり、帰宅要求等有る方に対して、既往症や生活歴なども踏まえたアセスメントを行い、多職種と連携し症状等が軽減出来るように努めている。（言葉掛けの統一や回想法などの計画位置づけ）
- ・ 看取り介護において、ご家族と過ごす時間を重視し、ご家族が最期の瞬間まで側に居られるように、多職種と連携した。

（3）委員会からの報告

<防災委員会>

- ・ 年間計画に沿って、定期的に防災教育や防災訓練、設備点検等を実施。自然災害マニュアル、BCP マニユ

アル等の整備も行った。

- ・ 災害についての教育も実施したが、委員以外でもしっかりと対応できるように体制を整えていく。
また有事の際に使用する防災備品の点検も実施していく。

<身体拘束廃止>

- ・今年度の目標として前年度に引き続き「スピーチロックゼロ」を掲げたがいくつか気になる課題が残った。
研修やユニット会議、日常業務の中でもスピーチロックをなくす為にはどうしたら良いかを職員には発信してきた。スピーチロックゼロを達成するには、言い換えの活用、利用者の訴えや行動に対する寄り添いや傾聴、職員のアンガーマネジメント、利用者の個々のBPSDへの理解、業務改善などの多角的な取り組みが必要である。来年度も引き続きスピーチロックゼロを目指し繰り返し発信していく。研修内容についてもスピーチロックを主とし内容を掘り下げ検討し次年度への課題としたい。

<虐待防止委員会>

- ・各職員のスキルアップを図る為に1年を3回に分けて目標を設定。
 - ① 利用者様の尊厳を守る為に正しい言葉遣いをおこなう。
 - ② 身だしなみ。整容清潔を整える。
 - ③ アンガーマネジメントを取り入れ実行。
 - 1 アンケートを実施し自身で振り返りを行ない、1カ月ごとに実施し翌月にはどう変わったのか、意識しているのかなど現状の変化反省を取り入れた。
 - 2 ネグレクトに繋がる部分。【綺麗にいて欲しい】という意識を高め自身の改革、変革に繋げた
 - 3 自身のコントロールを行ない内容や言い回し、イントネーション等が客観的に聞いても良い声掛け出来るようにスキルアップを目指した。
- ・上記の目標を掲げたがまだまだ意識の部分で至らない点も多い。
感染流行シーズンで感染の意識にシフトが向き停滞してしまった。
細かく精査すると前半期は確実に実施出来ていた為、感染中でも関係なく上記1.2を実施出来るようにマニュアル化など見直し周知していく。
3に関して外部講師による研修を実施している。
来年度は上記の目標を基盤に、スタッフ同士利用者様とのコミュニケーションスキルを向上させサインや声をしっかりと聞き取る。不適切と捉えられかねない態度や配慮や尊重に欠ける態度においては、研修や日々の指導以外の部分でも職員管理体制の強化。定期的な報告制度の導入などで職場環境を整える必要があると感じる。職員一同が協力しあい良質な介護を提供するための環境づくりを進める。

<食事検討委員会>

- ・令和6年度は、「多職種連携による「個別の栄養管理」をより強化し、科学的根拠に基づいた食事・栄養管理を提供することで、ご利用者のQOLの維持・向上を図る」を目標とした。介護システムの導入により、情報を素早く収集でき、栄養管理を検討する時間を多く持つことができたが、食事提供（給食管理）において多くの課題が浮き彫りとなり、委託会社と管理栄養士、施設職員全員で対応した1年だった。
給食管理と栄養管理を安定させ、令和7年度もご利用者のQOLの維持のために取り組みを行いたい。
- ・会議前に意見を収集することで、会議自体の議論を活発にすることができた。令和7年度も同様の方法で会議を行っていく。

<感染症対策委員会>

- ・今年度目標①利用者様及び介護施設従事者を施設内感染から守る。②感染を最小限に止めるとして職員各々の感染予防策に対する手技の確認・徹底を目的に研修会で個人的に防具の着脱・手洗いを行ったことでR7年の3月のコロナ感染対策の際には手際よく自分のものにされている様子も見られた。

- ・ 感染拡大を防ぐ事を目的に罹患者と同室の利用者様をイエロー・レッド対応にし認知症による徘徊のある利用者様にも逆隔離をすることで感染期間を短縮・感染者が増えないなどの成果を得られていると考えるが常に虐待防止・倫理的配慮がされているか記録化するよう検討する必要があるのではないか
と次年度の検討事項にしていく
- ・ 感染発症時には委員会メンバーが率先的に活動し介護士長はフォローに入るような動きになるよう検討
していく必要がある。

<介護事故防止委員会>

前年度ヒヤリハット件数は、360 件で今年度は 165 件。前年アクシデント件数は、103 件で今年度は 101 件でした。ヒヤリハット件数が 200 件近く減少してしまった。アクシデント件数は 2 件減少となっている。今年度は誤薬防止、誤薬ゼロを目指して、職員 2 名にて名前の確認、指差し確認等を行いました。結果的に誤薬ゼロ（1 件発生）とはなりませんでしたが、職員同士で意識しあえる環境は形成出来たと感じます。アクシデント総数は、前年とあまり変わりませんが、今年度は内出血の発見時もアクシデントとしていました。前年に比べて内出血アクシデントが増えていた状況でしたが、横ばいという結果から、職員全員の危険への意識が高まっていると感じました。次年度は、よりヒヤリハット件数の増加とネオスケアに頼りすぎている部分があるアクシデントの減少に努めていきたい。

<褥創防止対策委員会>

- ・ 今年度は委員長の変更があり活動内容の申し送りがされず前任者が受け継ぐことになり「褥瘡対策スクリーニング・ケア計画書」の作成内容のみで作成・研修会も骨を折る状況化であったが後半では委員会で「新聞」を定期的に作成し皮膚トラブルに関連した内容を発信されていた。
- ・ 次年度は「褥創発生者」を明確に上げ「褥瘡報告書」の導入なども検討事項としていく

<医療行為検討委員会>

- ・ 看護と介護の連携のもと、トラブルなく、安全に医療行為（経管栄養 2 名）や夜間の痰吸引の実施ができた。

2、年間行事表

年 間		月 間	旬 間	週 間	日 課
3月～4月	花見会 花見カフェ	諏訪神社参拝 物故者供養 墓参り 床 屋 出張美容室 お好みメニュー	歯科診察 (木曜日)	深澤医師診察 (水曜日)	機能訓練
5月	端午の節句 母の日				
6月	父の日 創立記念日				
7月	七夕祭り				
8月	納涼会(秋へ延期)				
9月	秋祭り・敬老会・十五夜				
11月	豚汁会				
12月	クリスマス会(中止) もちつき(中止)				
R5.1月	新年祝賀会(中止)				
2月	節分				
3月	ひな祭り				

3、職員研修状況

(1) 施設外研修

令和6年4月～令和7年3月

年月日	研修主催者	研修内容	参加人数	研修場所
R6.5.30	介護魅力発信プロジェクト実行委員会	新入社員による懇談会	1	ベルクラシック甲府
R6.6.11	帝京福祉専門学校	卒業生の研修会	1	帝京福祉専門学校
R6.6.20～ 10.31	甲府市健康長寿推進会	認知症介護実践者研修	2	オンライン
R6.7.26、 R6.11.13	社会福祉法人寿の家	集まれリーダー コミュニケーション 技術メンバーの意識を変える仕組みづくり	2	地域交流施設大木記念ホール
R6.8.16 ～9.18	山梨県介護支援専門員協会	山梨県介護支援専門員研修過程・更新研修Ⅱ	1	桃源文化会館
R6.8.21～ R6.11.19	山梨県介護福祉士会	令和6年度高齢者権利擁護推進委員養成研修	1	山梨県立男女共同参画推進センターびゅあ総合
R6.8.23、 R6.12.11	社会福祉法人寿の家	認知症の人の権利擁護と意思決定支援Ⅰ 認知症の人の権利擁護と意思決定支援Ⅱ	2	地域交流施設大木記念ホール
R6.9.5～ R6.12.3	介護労働安定センター	認知症介護実践研修(実践リーダー研修)	1	地域交流施設大木記念ホール
R6.9.20	介護魅力発信プロジェクト実行委員会	山梨県介護3年目介護職員研修会	1	山梨県JA会館6階大ホール

R6. 10. 1	認知症介護研究・研修東京センター	BPSD とそのケアの基本的考え方 認知症チームケア推進の具体的方法	1	オンライン
R6. 10. 3、4	全国老人福祉施設協議会	第 59 年関東ブロック老人福祉施設研修 総会長野大会	2	ホクト文化ホール ホテルメトロポリタン長野
R6. 11. 1	山梨県老人福祉協議会	山梨県老協次世代委員会研修会		甲府市健康の杜センター オアシス
R6. 11. 21 ～11. 22	全国老人福祉施設協議会	第 3 回全国老人福祉施設大会・研修会議	1	滋賀県大津市 びわ湖大 津プリンスホテル
R6. 12. 5	山梨県介護福祉士会	高齢者権利擁護事例等報告検討会	3	山梨県立男女共同参画推 進センターびゅあ総合
R7. 3. 13	リコージャパン (株)	G ビズ ID と IT 導入補助金で実現する 介護事業所の ICT 化のメリット	1	リコージャパン甲府事業 所

(2) 施設内研修

初任者研修

月 日	内 容	担 当
4 月 1 日 12 月 10 日 12 月 11 日	法人事業・事業計画・就業規則・職業倫理・衛生教育 防災教育・生活支援・事故防止・機能訓練・介護保険 身体拘束廃止虐待防止・医療・感染対策・ターミナルケア 食事・介護・記録 等について	各担当責任者

月次施設研修

月 日	内 容	担 当
4 月 26 日 (金)	事故防止 (誤薬防止について) 外部講師	介護士長: 清水 悟
6 月 6 日 (木)	緊急時の対応及び心肺蘇生について	看護師: 鈴木・岸本・渡辺
6 月 24 日 (月)	感染症対応について	感染対策委員会: 福田看護リーダー
7 月 29 日 (月)	防災教育及び災害 BCP 研修	防災委員会: 齋城・清水
8 月 26 日 (月)	身体拘束防止について一疑似体験を通じて一	身体拘束廃止委員会: 山本・坂東
11 月 20 日 (水)	嘔吐処理訓練と感染 B C P (前グループ)	感染対策委員会: 福田看護リーダー
12 月 4 日 (水)	嘔吐処理訓練と感染 B C P (後グループ)	感染対策委員会: 福田看護リーダー
12 月 10 日 (火)	虐待防止について	虐待防止委員会: 大森
1 月 28 日 (火)	褥瘡防止とターミナルケアについて	褥瘡防止委員会: 衣川・志村・伊部
2 月 9 日 (日)	事故防止について	事故防止委員会: 保延
3 月 17 日 (月)	身体拘束防止について	身体拘束廃止委員会: 飯島
3 月 26 日 (水)	虐待防止 (アンガーマネジメント) 外部講師	虐待防止委員会: 大森

※今年度計画していた研修は、コロナウイルス蔓延等により大きく変更がありました。また口腔ケアに関する研修は外部講師を招いて実施予定でしたが、こちらも同じ理由で中止となりました。

4、施設実習受け入れ状況

実習機関	実習内容	期間	実人数	延べ人数
帝京福祉専門学校 (介護福祉士養成)	施設実習	6/25～7/2 6 日間	2 人	12 人
		9/26～10/30 23 日間	3 人	69 人

		11/12～11/19 6日間	3人	18人
介護労働安定センター	介護労働研修 (実務者研修を含む)	11/1.11/5～11/8	1人	5人
計			9人	104人

5、在宅サービス受け入れ状況

短期生活介護（ショートステイ）

年月	R6. 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7. 1	2	3	合計
利用者数	19	16	15	15	14	14	13	15	14	11	13	10	169
延日数	351	317	223	226	258	172	176	214	227	178	173	165	2329

年間利用実員 41人

関連居宅支援事業所数 24 事業所（尚古園居宅含む）

甲府市 22 事業所

6、ボランティア受け入れ状況

<グループ別月間集計>※ご来園

年 月 グループ名	R6 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7 1	2	3	計
<自治会・女性部団体>													
大手東部女性部									1				1
峰本女性部						1							1
上積翠寺女性部								1					1
日影女性部							1						1
<サークル・ボランティア団体>													
<宗教団体等>													
<学校・保育園関係>													
<個人>													
<家族>													
<企業・法人・その他>													
合 計 (団体)						1	1	1	1				4
(人)						1	1	1	1				4

※ =雑巾、タオル寄贈の為来園

7、食事と栄養

(1) 年間行事食献立

年 月 日	行 事 名	献 立 内 容
毎月 1 日	誕生日会	御赤飯（栗・甘納豆）、季節感のある副食
毎月 1 日	お好みメニュー	主食（御飯物、麺類等）の 2 種類からひとつ選択
5 月 7 日	端午の節句	いなり寿司、五目玉子焼き、菜の花の煮浸し、つみれ汁、マンゴー
6 月 24 日	法人創立記念日	栗の赤飯、鶏の照り焼き、野菜田楽、酢の物、すまし汁、キウイ
7 月 6 日	七 夕	七夕そうめん、かき揚げ、枝豆、茄子田楽、バナナ
7 月 30 日	土用丑の日	うな井、冬瓜のかにあんかけ、なすの和え物、すまし汁、すいか
8 月 5 日	土用丑の日	ひつまぶし、アスパラソテー、ポテトサラダ、豚汁、りんご
8 月 25 日	夏祭り	焼きそば、おでん、焼鶏、たこ焼き、チョコバナナ、ソフトドリンク、アイスクリーム、かき氷
9 月 16 日	敬老の日	栗の赤飯、天ぷら、ひじきの煮物、ほうれん草のわさび和え、味噌汁、マンゴー (おやつ) 祝い饅頭
9 月 23 日	秋分の日	おはぎ 3 種、たらの塩麹焼き、ずんだ和え、豚汁、梨
9 月 17 日 10 月 15 日	十五夜・十三夜	十五夜：(おやつ) 月見ゼリー 十三夜：(おやつ) みるく饅頭
12 月 24 日	クリスマス	チキンライス、スープ、煮物、サラダ、マンゴー (おやつ) チョコムース
R7 年 1 月 1 日	新年祝賀会	雑煮、おせち盛り合せ、お屠蘇、みかん
1 月 7 日	七 草	七草粥、鶏豆腐焼き、味噌田楽、春菊のわさび和え、とろろ昆布汁、みかん缶
2 月 3 日	節 分	(おやつ) 切山椒
3 月 3 日	桃の節句	ちらし寿司、かき玉汁、たけのこのわかめの煮物、菜の花の辛子和え、ぜんざい

(2) 栄養ケア・マネジメントによる栄養リスク判定

月	人数	リスク判定別人数		
		低リスク	中リスク	高リスク
6年4月	74	15	42	17
5月	79	14	39	26
6月	78	12	42	24
7月	78	9	41	28
8月	82	12	49	21
9月	81	15	45	21
10月	82	15	45	22
11月	82	14	45	23
12月	82	12	50	20
7年1月	78	16	43	19
2月	81	15	51	15
3月	81	17	47	17
平均	79.8	13.8	44.9	21.1
全体割合	100	17.3	56.3	26.4

(3) 食事内容・食形態別数

	一般食	腎臓食	糖尿病食	経管栄養	合計
常菜	9	6	1	—	16
キザミ	13	5	1	—	19
超キザミ	14	2	1	—	17
ミキサー	1	0	0	—	1
経管栄養	0	0	0	4	4
ハーフ	16	3	0	—	19
ONSのみ	5	1	0	—	6
合計	58	17	3	4	82

令和7年3月31日夕食現在

8、ひまわり会（利用者の会）活動状況

※毎回、園からの情報提供、ご利用者からの要望、利用者間の話し合いを行なう。

日 時	参加人数	活 動 内 容
10月		施設内新型コロナウイルス発生に伴い中止
1月		施設内新型コロナウイルス・インフルエンザ同時クラスターにて中止

9、ご家族との連携

(1) ご家族への案内

	内 容
毎月	* 諸経費・小遣等領収書の発送 * 介護保険等の情報提供 * 行事等でのご利用者のお写真を「ひとこま」としてお知らせ * 利用料請求 * 当月及び翌月の予定のお知らせ
該当月	4月 … ・介護報酬改定に伴う利用料金改定について ・春の行事（お食事会・お花見会ドライブなど）のお知らせ
	5月 … ・面会制限の緩和について ・衣替えについて
	6月 … ・介護保険各種認定証・確認証の更新時期となりました ・夏祭りの開催について ・衣替えについて ・衣類には必ず記名をお願いします
	7月 … ・介護保険各種認定証の更新手続きはお済みですか ・夏祭りの開催について ・衣替えについて
	8月 … ・介護保険各種確認証の結果について ・居住費の負担限度額が変わります ・健康保険証とマイナンバーカードについて
	9月 … ・各種減免の認定申請をありがとうございました ・夏祭りの開催について ・長寿祝賀会を開催いたしました
	10月 … ・新型コロナワクチン・インフルエンザ予防接種について ・衣替えの季節となりました ・秋まつりの開催について
	11月 … ・受診など外出対応について ・面会について ・各種予防接種について
	12月 … ・マイナ保険証について ・受診後の対応について ・年末年始面会について
	1月 … ・本年もよろしくお願い致します ・新型コロナウイルス及びインフルエンザ感染症の終息について
	2月 … ・ご利用の口座振替日の変更について（お詫び）
	3月 … ・新型コロナウイルス感染症の発生状況について ・お花見会について ・高額介護合算療養費等の申請について

(2) ご家族との共同活動

今年度も新型コロナウイルス感染症対策の為、6月、12月の大掃除は中止し、職員のみで6月、11月に実施。

10、利 用 者 の 状 況

(1) 年 齢 ・ 性 別

令和7年3月31日現在

年齢 性別	50 ～ 59	60 ～ 64	65 ～ 69	70 ～ 74	75 ～ 79	80 ～ 84	85 ～ 89	90 ～ 94	95 ～ 99	100 以 上	計	最 高 年 齢	最 低 年 齢	平 均 年 齢
男	1	0	0	1	3	4	3	4	0	0	16	94	58	82
女	1	0	0	0	2	18	15	16	13	1	66	102	58	88
計	2	0	0	1	5	22	18	20	13	1	82			86.7

(2) 在 園 期 間

令和7年3月31日現在

期間 性別	1年 未満	1年 以上 ～ 3年 未満	3年 以上 ～ 5年 未満	5年 以上 ～ 10年 未満	10年 以上 ～ 15年 未満	15年 以上 ～ 20年 未満	20年 以上	計	1人当り 平均 在園 期間
男	10	2	1	3	0	0	0	16	2年
女	31	20	6	4	4	1	0	66	2年 5ヶ月
計	41	22	7	7	4	1	0	82	2年 4ヶ月

(3) 退 園 理 由

令和 6 年度退園者

区分 性別	死亡			長期入院 見込み	ご家族 の 希望	その他	計
	施設	病院	家庭				
男	7	2	0	4	0	0	13
女	21	3	0	2	3	0	29
計	28	5	0	6	3	0	42

(4) 入 園 前 居 所

令和 6 年度入園者

区 分 性別	在宅	病院	養護老人 ホーム	特別養護 老人ホーム	老人保健 施設	グループ ホーム	ケア ハウス	短期入所 施設	計
男	1	5	0	0	2	1	0	4	13
女	6	9	0	0	4	0	0	20	39
計	7	14	0	0	6	1	0	24	52

令和 7 年 3 月 31 日現在

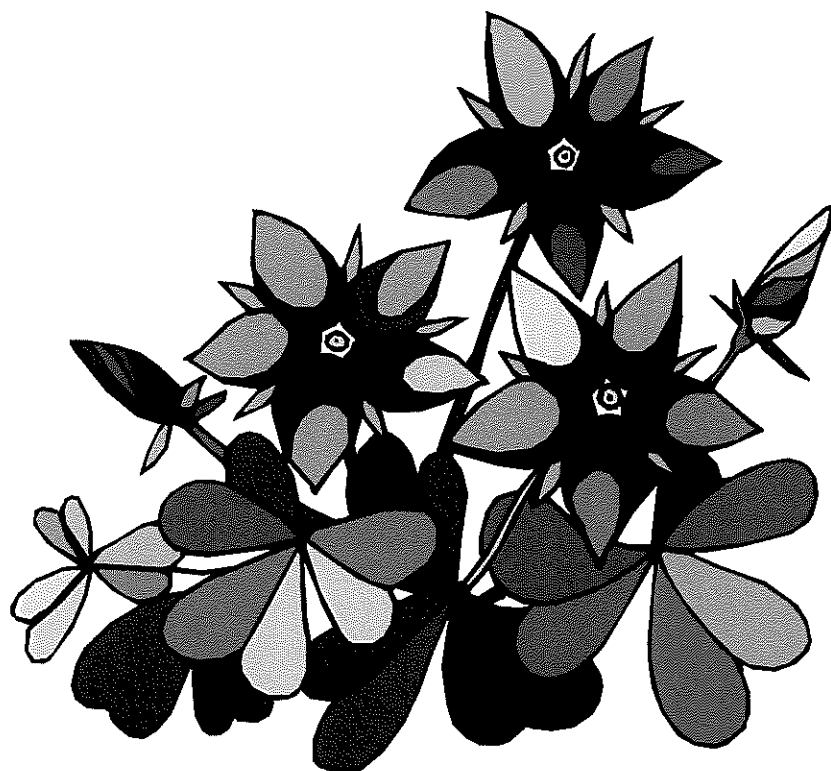
区 分 性別	在宅	特別養 護老人 ホーム	ショ ー ト 専門棟	病院				老人 保健 施設	グル ープ ホーム	ケアハ ウス	その 他	計
				一般	療養型	リハ ビリ	精神 科					
男	4	0	5	3	2	0	0	1	1	0	0	16
女	20	0	24	5	5	2	1	9	0	0	0	66
計	24	0	29	8	7	2	1	10	1	0	0	82

(5) 介護度別人数の変化

入園者

介護度	R6. 3. 31 現在	R7. 3. 31 現在
1	0	1
2	1	1
3	32	33
4	26	35
5	13	12
合計	72	82
平均介護度	3. 71	3. 68

サテライト特養尚古園



1、利用者生活支援状況（報告）

(1) 支援方針総括

今年度は昨年に引き続きコロナウイルス感染症対策を重視した生活支援を続けてきた。職員 1 名、ご利用者 1 名が罹患したが、他のご利用者及び職員の感染者はなかった。

誤嚥性肺炎と誤嚥性肺臓炎の入院者が多かった。次年度は予防を強化していく。

ご利用者の超高齢化、重度化が年々進み、施設は生活支援から「基本的な身体ケア」に重きを置くことが多くなっている。

今年度も数名の方を施設で看取りを行ったが、「施設での看取り」は、介護職員だけでなく看護師、管理栄養士、生活相談員、施設ケアマネといった多職種がチームとなって、日々のケアをしっかりと行ってきたことの現れだと評価している。

サテライト尚古園は地域密着型施設という特性により、本来であれば家族やボランティア、学生など多くの人が自由に出入りしてもらい、「社会の風」を「施設」に運んでくださっていたが、コロナ等の感染症対策のため、そのような機会は減ったこれからも開かれた施設としてのあり方を模索してゆきたいと思う。

(2) 各部署からの報告

<介護>

サテライト特養尚古園では、令和 6 年度の重点目標を「地域密着型施設として、ユニットケアの推進と、それに基づく良質な個別ケアの提供。」とし実施してきた。

- ・ 各入居者の「暮らし」を正しく認識し、その方に寄り添い、その方の暮らしを支える介護の実践。
- ・ ユニットケアの概念を各職員が正しく理解し、その考えに基づいた個別性を重視したケアの提供
- ・ 多様な生活に対応できる介護を提供する為、職員のスキルアップができるよう研修を重ねる。

個別ケアときめ細かな対応を日頃から実践することを意識し、食事や排泄、入浴、睡眠といった生活の中での基本的な部分の情報を、しっかり観察を行い、小さな変化にも気付き多職種と連携して、情報の共有や対応を行う事が出来た。

感染予防については、利用者の罹患者はあったものの、感染対策の初動を円滑に行い、徹底した対応を行うことで、他者への感染は無く、一名のみの感染で終息することが出来た。

研修については、外部研修への参加は行えなかったが、内部研修の実施は予定通り行うことができた。

地域密着型介護施設としての姿をより意識し、具現化できるように、今後も引き続き取り組んでいきたい。

<看護>

- ・ 利用者様の変化に素早く対応できるようにバイタルサインだけの数値で評価判断しないよう日頃から食事・排泄・入浴などの生活援助に積極的に参加し介護士との情報共有や情報交換に努めた。また異常に気が付いた時点でその症状の専門分野に外診して頂くよう、他部署と相談し適切な治療を提供することでそれ以上の悪化がないように組織全体で取り組んだ。「看取り」に関してもケアマネ・相談員を通じギリギリのラインまで家族との意向を確認し希望に沿うことでトラブルに発展するケースもなかった。

<管理栄養士>

栄養カンファレンスを通して、多職種間での情報を踏まえ、食事内容の検討を行い栄養状態の改善・維持に努めた。

加算対象の療養食も継続しながら、歳時記に合わせた食事や行事・イベント食の提供を行い、好評を得ている。今後も継続していく。

献立作成を委託会社本社に依頼。月1回献立検討会を設定し、委託会社本社栄養士と施設栄養士で管理していく仕組みを作り継続している。

<介護支援専門員>

施設としての感染対策を行う中で、面会や電話連絡を通してご家族との信頼関係を構築しつつご利用者、ご家族の意向に沿い、園の支援方針のもと個別性と自立支援を重視したサービス計画の作成に努めてきた。

サービス担当者会議においては担当制を活かして参加できるよう調整し、ご利用者の状態の報告や意向を汲み取る中で支援方針を決め、多職種で情報共有しながら多様なニーズに対しても柔軟に対応している。

また、施設でのお看取りを希望される方、延命を望まれた方に対してもどのような支援が一番ご本人にとって良いのか、ご本人とご家族の気持ちを汲みながら各専門職種がチームとなり話し合いや丁寧なケアの提供が行えた1年であった。

日々の生活でも細やかな個別ケアに繋がられ、個々の課題について今後もその都度話し合い迅速に対応し、専門職がチームとなってケアが展開できるように努めていく。

<生活相談員>

今年度も引き続き、感染症対策により行事や面会の制限をさせていただくことが続いた。12月から衣類入れ替え時等は居室での面会を解禁し、通常の面会もドア越しではなく玄関内でのパーテーション越しに変更した。まだまだコロナ以外の感染症も終息していない為、居室内での面会には至っていない。居室内での面会については、ご家族からの要望も多いため、今後の検討とする。

今年度も待機者の確保については、持病や金銭面、男性待機者の増加等の理由により待機者が少ない状況は変わらず続いており、引き続き来年度の課題となってしまった。

また、今年度は4名の方を施設でお看取りをさせて頂き、3名の方が体調不良での入院から医療依存度が高くなり療養型へ転院となられた。今年度は居宅ケアマネージャーからのショートステイの問い合わせもあり、空所型を利用したショート利用へ繋げることが出来たが、入院者の方向性がなかなか決まらず入院期間が長くなった事もあり、結果として目標稼働率を達成することが出来なかった。

来年度は、待機者の確保と入院に繋がらないよう多職種間で細やかなケア提供に努め、目標稼働率達成に努めていく。

(3) 各委員会・係からの報告

<防災委員会>

職員の防災意識向上に努めるべく緊急避難行動を想定した訓練を実施し、多くの職員が積極的に訓練等に参加し防災意識向上を図れた。例年の震災からの火災訓練に加え、水害訓練の実施を取り入れた。あらゆる災害は、いつ発生するかわからない状況の為、訓練や日頃の心構えが重要である。万が一の事態に備え、今後も継続して活動を行っていきたい。

<食事検討委員会>

ご利用者からの要望や意見などを話し合い、出来る限り希望に沿った食事提供ができるよう努力した。

給食業者や施設スタッフとの連携により、行事・イベント食の提供ができた。食べる楽しみの時間や自己選択できる機会のひとつとして、お好み食の提供を継続する。

衛生管理の徹底や、ご利用者の身体、疾病状況に合わせた食事の提供をおこなう為、多職種間での情報交換は必須。継続していく。

<介護事故防止委員会>

アクシデント・ヒヤリハットが発生した際、即座にスタッフミーティングを開催し、事故原因の追究か

ら対策を講じ、各職員に事故再発の啓発を行なった。事故防止委員会を3ヶ月おきに開催し、該当月に発生した事故の再分析、事故防止対策の徹底を行った。

事故防止の研修会を年度中に2回実施し、重大なアクシデントを起こさない為の教育活動を行った。

今年度、居室内で転倒し骨折する案件が1件発生、入院に至ってしまった。利用者様の安全に配慮した対応を意識することが求められている。建物の構造、認知症状の重度化に伴い、事故の発生を完全に抑止する事は困難であるとしても、基本的な生活支援（正しいトランスファー、備品の管理方法など）を正確に認識し実践していく。各職員に対する安全啓発活動・教育活動を推進・強化していきたい。

今年度の令和7年1月より各居室へ見守りカメラを導入した。カメラを設置したことで、居室内での転倒の件数が減少した。特に夜勤帯における居室内での利用者状況を確認でき、利用者様の安全確保に繋がっているとと言える。見守りカメラ導入に安心することなく、各職員の危険予知に対する意識を継続的に高めていきたいと考えている。

<身体拘束廃止委員会>

ご利用者の重度化に伴い、認知症状も中重度の方が増加している。これによって危険に対しての認知不足から、転倒などの事故リスクが非常に高くなっている。

介護テクノロジーの導入として、見守りカメラを設置した。特にワンオペとなる夜間帯において、待機フロア外の利用者の状況を確認できるツールが確保でき、利用者の安全の確保に繋がり、結果的に利用者の行動抑制の予防にも繋がると感じる。

<感染症対策委員会>

職員1名、ご利用者1名のコロナ感染はあったものの、他職員や利用者への感染はなく、施設内での蔓延は防ぐことが出来た。コロナウイルスについては、5類に引き下げられたものの、未だ罹患のリスクは高い状況であり、感染対策としては今まで同様の対応を継続して行う事としている。今後も施設内への感染症の持ち込みを防ぐことを最優先として活動を行っていききたい。

空気清浄機と加湿器の清掃を見直し、適切な湿度やさきいな空気を提供できるように努めた。

(4) ご家族・地域との交流

年に2回開催していた環境整備は、今年度も感染症対策に伴い職員のみで行い、本来の目的である家族交流が行えなかった。例年、ご家族や学生ボランティアを招待し、デイサービス合同で賑やかに開催する夏まつりも、特養のみの開催となった。

運営推進会議は、1年を通して感染対策を講じながら対面にて開催した。入居者やご家族にもご参加頂き、対面にて開催することで多様な意見を頂き有意義な会議となった。

地域の行事では、恒例の七夕まつりや信玄公まつりへ出かけ、騎馬隊の方々との写真撮影を行い交流を図ることができた。コロナ感染症が流行する以前の地域の活気と賑やかな雰囲気に戻っており、来年度も感染状況に柔軟に応じながら、ご家族や地域との交流できる機会を増やして行きたい。

2、年間行事

	年 間	月 間	週 間	随 時
R4. 4月	花見外出 ササボ開設記念日	お誕生日会 お好みメニュー 美容院の日 買い物の日 甲府市介護相談員 訪問	深澤 Dr. 回診（水 曜日） 歯科往診（木曜 日） 余暇の日 （日曜日） 居室内整備	防災訓練 サービス担当者会議 レクリエーション 外出・散歩
5月	端午の節句 母の日			
6月	父の日			
7月	七夕・土用の丑の日			
8月	納涼会			
9月	十五夜・敬老会			
10月	十三夜・紅葉狩り			
11月	お楽しみランチ *ちらし寿司			
12月	クリスマス会			
R5. 1月	新年祝賀会 七草			
2月	節分			
3月	ひな祭り			

3、職員研修状況

(1) 施設外研修

期間	内容	研修主催者	受講者
R6. 6/27～10/31	認知症実践者研修	甲府市健康長寿推進会	介護職員 1名
R6. 9/3	安全運転管理者等講習	山梨県公安委員会	管理者 1名
R7. 3/14	技能実習責任者講習	(株)アプエンテ	管理者 1名

(2) 施設内研修

期 間	内 容	発表・講師等
R 6.5	職業倫理・個人情報・プライバシー保護・権利擁護	サブリーダー
R 6.6	防災対策	防災担当
R 6.7	衛生管理・食中毒予防	感染対策委員会
R 6.8	身体拘束・虐待防止	介護福祉士
R 6.9	防災教育	防災担当
R 6.10	認知症ケア	介護福祉士
R 6.11	感染症・BCP における感染	感染対策委員会
R 6.12	事故防止①	事故防止委員会
R 7.1	ターミナルケアと褥瘡の予防	介護福祉士
R 6.2	事故防止②	事故防止委員会

4、実習生受け入れ状況

令和6年度は受け入れ無し。

5、利用者の状況

(1)年齢・性別

令和6年4月1日

年齢 性別	60	70	75	80	85	90	95	100	計	最高 年齢	最低 年齢	平均 年齢
	59 70	69 74	74 79	79 84	84 89	89 94	94 99	99 以上				
男	0	0	2	0	1	1	0	0	4	92	79	83.8
女	0	1	1	0	0	9	4	1	16	103	74	92.1
計	0	1	3	0	1	10	4	1	20			90.4

令和7年3月31日

年齢 性別	60	70	75	80	85	90	95	100	計	最高 年齢	最低 年齢	平均 年齢
	59 70	69 74	74 79	79 84	84 89	89 94	94 99	99 以上				
男	0	1	0	1	1	0	0	0	3	89	71	80.0
女	0	0	1	1	0	8	4	1	15	104	75	86.7
計	0	1	1	2	1	8	4	1	18			85.6

(2)在所期間（令和7年3月31日現在）

*平均在園年数 3年4ヶ月

男性:2年4ヶ月 女性:3年6ヶ月

(3)入退所状況

*令和6年度 退所者8名 入所者6名

*令和7年3月31日現在 入所者数 19名

病院で死亡	0	施設で死亡(看取り介護)	4
-------	---	--------------	---

(4)入所前居所

令和5年度入所者合計8名

在宅	2	グループホーム	1
(短期入所生活介護専門施設)	2	老人保健施設	0
(小規模多機能型施設)	0	養護老人ホーム	0
サービス付き高齢者住宅	1	病院(リハビリ系含む)	3

(5) 入退院状況

No	性別	要介護度	入院先	病名	備考
1	男	4	県立中央病院	心不全	施設に帰園
2	女	3	県立中央病院	脳梗塞	入院から療養型へ転院
3	女	4	県立中央病院	化学性肺臓炎	施設に帰園
4	女	4	市立甲府病院	誤嚥性肺炎	施設に帰園
5	男	3	山梨医大	十二指腸穿孔	施設に帰園
6	女	3	山梨病院	肺炎	施設に帰園
7	女	3	甲府共立病院	肺癌	施設に帰園
8	女	3	県立中央病院	細菌性肺炎	施設に帰園
9	男	4	県立中央病院	心不全	入院から療養型へ転院
10	女	4	市立甲府病院	誤嚥性肺炎	入院から療養型へ転院
11	女	3	山梨病院	誤嚥性肺炎	施設に帰園

(6) 介護度別人数の変化

介護度	R6.4.1現在	R7.3.31
要介護1	0	0
要介護2	0	0
要介護3	11	7
要介護4	6	7
要介護5	3	4
合計	20	18
平均介護度	3.60	3.45

(7) 栄養ケア・マネジメントによる栄養リスク判定

月	人数	リスク判定別人数		
		低リスク	中リスク	高リスク
R5 年 4 月	20	4	12	4
5 月	20	3	12	5
6 月	20	1	13	6
7 月	19	2	13	4
8 月	20	2	15	3
9 月	20	2	15	3
10 月	20	2	14	4
11 月	19	1	12	6
12 月	17	1	11	5
R6 年 1 月	18	2	12	4
2 月	18	2	12	4
3 月	19	2	13	4
平均	19.2	2.0	12.8	4.3

6、運営推進会議の開催

指定地域密着型サービス事業者として定期的に「サテライト特養尚古園運営推進会議」を開催。
なお、今年度も感染症の状況によって、感染対策を講じて短時間で開催した。

運営推進委員：ご利用者代表、ご家族代表、地域包括支援センター、民生委員、地域代表、学識経験者
施設参加：施設長、ユニットリーダー、生活相談員、ケアマネージャー、管理栄養士 等

第一回 運営推進会議（令和6年5月27日 14:00～）

1. 今年度の推進委員の紹介
2. ご利用者の状況（概況）
3. 感染症対策報告～感染症対策の状況等
4. 活動状況報告
5. 事故防止委員会より
6. 苦情要望窓口より
7. その他～アンケート集計結果、職員紹介について

第二回 運営推進会議（令和6年7月29日 14:00～）

1. ご利用者の状況
2. 感染症対策報告～感染症対策の状況等
3. 活動状況報告
4. 事故防止委員会より
5. 苦情要望窓口より

第三回 運営推進会議（令和6年9月30日 14:00～）

1. ご利用者の状況
2. 感染症対策報告～感染症対策の状況等
3. 事故防止委員会より
4. 活動状況報告～夏祭りの様子
5. 苦情要望窓口より

第四回 運営推進会議（令和6年11月25日 14:00～）

1. ご利用者の状況
2. 感染症対策報告～感染症対策の状況等、インフルエンザワクチン接種について
3. 事故防止委員会より
4. 活動状況報告
5. 苦情要望窓口より

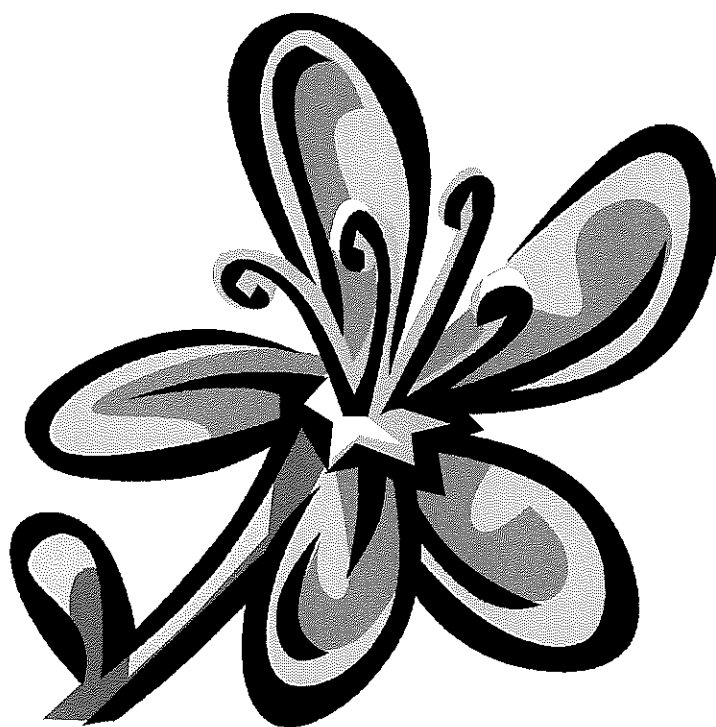
第五回 運営推進会議（令和7年1月27日 14:00～）

1. ご利用者の状況
2. 感染症対策報告～感染症対策の状況等
3. 事故防止委員会より
4. 活動状況報告
5. 苦情要望窓口より

第六回 運営推進会議（令和7年3月24日 14:00～）

1. 管理者変更に伴う挨拶
2. ご利用者の状況
3. 感染症対策報告～感染症対策の状況等
4. 事故防止委員会より
5. 活動状況報告
6. 苦情要望窓口より

尚古園デイサービスセンター



1、利用者生活支援状況（報告）

（１）総括

令和 6 年度は I C T（ケアカルテ介護記録ソフト、インカム機器）導入により、①介護記録業務の効率化・省力化によるケア時間の捻出、②職員間のタイムリーな情報共有③バイタル集計機能や画像記録を活用した外部機関への情報提供内容の充実、④蓄積データの有効活用に取り組んだ。これにより、午前中の余暇活動の充実、迅速で正確な申し送りによるチームケアの向上、更に居宅ケアマネジャー、ショートステイ事業所などの関係機関とのより詳細な情報共有と連携を行う事が出来た。今後更に I C T の活用を深化させ、園訓である「より優しく、より大切に、より早く」介護サービスが実践出来るように努めていきたい。

年間平均稼働率は、昨年度を大幅に上回る結果となった。今後も事業対象者から要介護 5 の方まで幅広く受け入れ、地域で暮らす高齢者の方々の「生きがい・やりがい創出の拠点」としての機能を発揮していきたい。

（２）利用者生活支援

① 入浴サービス（一般浴・リフト浴・機械浴・展望浴）

ご利用者一人一人の健康状態を把握しつつ、身体状態に合わせた介助の方法や設備を活かした入浴サービスを提供している。入浴中は十分な見守りのもと、安全に安心して入浴をしていただけるよう観察と配慮をし、全身状態の把握や清潔の保持に加え、生活リハの観点から残存機能を活かした一連の動作に係る介助を行った。また、ご利用者の身体状態に合わせた入浴設備（リフト浴・機械浴）を使用し、ご利用者の心身状態の維持と在宅介護の負担軽減を図った。

「ゆっくり温まり、くつろげるお風呂」を目指し、浴室の壁面にご利用者創作の壁画を 3 か月毎に装飾したり、ラジウム鉱石や入浴剤を入れた変わり風呂、また展望浴でのイベント浴を提供したりするなど、入浴意欲への働きかけと雰囲気作りに努めた。

② 給食サービス

管理栄養士の献立のもとバラエティーに富んだメニューと、高齢者向けの味付けが大変好評である。食器は陶器を使用し、嗜好や摂取量、療養食の提供、ご利用者の状態に合わせた食事提供に対応し、ご飯と汁物はデイのキッチンで盛り付けている。令和 7 年 2 月から開始した副菜の完調品提供については、目新しいメニューと安定した味付けが好評である。食前の口腔体操の実施や食事中の見守り、必要に応じたご利用者への適切な食事介助を通じて、安心して安全に食事を楽しんで頂ける環境作りを行っている。

また、ご利用者に参加頂く調理レク（味噌汁、おやつ）を企画・運営し、旬の材料で季節を感じながら楽しめる調理工程を工夫し、「自分達で作る」楽しさを提供することができた。メニューについてはクオリティを追究しつつ懐かしさや美味しさを感じられるよう工夫した。

③ 介護サービス

在宅生活の継続を目標に、残存機能の維持、向上の為に生活リハの実践や QOL の向上を意識したレクリエーション、行事の企画・運営を行った。また、ご利用者の心身状態・生活状況に応じたニーズを適切に把握することにより、一人一人に合った介護サービスが安全に提供出来るよう努めた。また、必要に応じてご家族やケアマネジャーに情報共有を行い、ケア方法や福祉用具の提案を行った。

④ 日常動作訓練

送迎から始まり、デイサービスセンター内でのご利用者の動作全てを生活上のリハビリと捉え、移

動・食事・入浴・排泄等の行為の際もご利用者の残存能力を引き出せるようアプローチし、自立の重要性、生活意欲の向上に繋がるようサポートした。

集団体操をベースにし、個々のニーズに合わせた機能訓練機器を使用したりハビリや、生活場面での移乗動作や移動時の歩行動作、起居動作の機を捉え、運動機能向上のサポートを行った。

⑤ 健康状態の確認

来所時のバイタルチェック、毎月の体重測定、視診、薬情報の把握を行い、ご利用者の健康管理に努めた。状態に変化がある場合や急変があった際には、迅速にご家族や担当のケアマネジャーと連携を取り、タイムリーに適切な対応を行うことが出来た。

またご利用者からの健康相談については、栄養指導や生活上の助言を行いながら、必要に応じ主治医らの医療関係機関から助言を得るなど仲介的なサポートを行った。

また、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策として、利用中、発熱や感冒症状が出現したご利用者と職員に、コロナ抗原検査を適宜実施し早期のコロナ罹患者発見に努めた。

⑥ 送迎サービス

ご利用者の身体状態や特性に合わせた車両選定と、送迎ルート、自宅周辺の土地環境を把握しながら、常に安全運転を心がけ、身体状態によっては職員2名で対応する等、快適に乗車し、安心して通所していただける送迎サービスを心掛けた。

車両の点検・整備は月1回実施。また車内・車外の清潔に努め、ひざ掛けやうちわなど設置し、寒暖差への配慮を行ったほか、コロナ禍の感染症対策の一環として車内の消毒清拭や車内の換気（小型空気清浄機設置）を通年対応とした。送迎はご利用者・ご家族との直接コミュニケーションを図れる場面でもあり、情報の共有や生活のアドバイス等を行うことで共通理解を持つことができた。

⑦ レクリエーション・余暇活動

ご利用者のADLの向上を目標に、交流や活動を通じて社会性の向上や生活の活性化を図り、季節の移り変わりを感じられるよう創意工夫しながら、レクリエーションの企画と展開を行った。

余暇活動では、玄関やフロア内に飾る壁画・装飾物などの製作、間違い探しや塗り絵、クロスワードパズルなどの脳トレーニングに取り組んで頂いたり、これらが苦手な方にはタオルたたみ等の軽作業を行って頂いたりすることで、個々の役割や作業的要素を含め、心身や認知機能の活性化を図る企画と実施を継続した。これらの活動の様子は毎月発行の広報誌やSNSで発信を行った。

⑧ 生活相談・援助

ご利用者の生活状況を把握しつつ信頼関係の構築につとめ、相談しやすい雰囲気の出出を心掛けた。ご利用者からの相談は真摯に対応し心の安寧を得て頂ける様に努めた。また、内容によっては、その方を取り巻く人的環境を1つの家族システムと捉え、必要時には関係機関と家族についての情報共有も行いつつ解決に向けて連携を行った。毎月、介護支援専門員に発信する「利用状況報告書」により、間接的にご利用者のリアルニーズを伝えた。

⑨ その他日常生活全般にわたる介護

ご利用者が独居の場合など、ご家族や居宅ケアマネジャーからの依頼により、電気、火の元の確認、施錠等、日常生活のサポートを実施し、在宅生活継続のための支援を行った。また、同居ご家族とは送迎時のコミュニケーションを心掛け、労いの言葉掛けをしつつ、相談があった場合には専門的知識と介護技術を伝えられるように努めた。更に、ご家族の都合に伴う急なご利用や利用時間変更についても柔軟に対応し、受入れた。これらによりご家族やケアマネジャーとの信頼関係の向上を図ることが出来た。

2、会議開催状況

会議名	開催時期	内容
スタッフ会議	毎月1回	・行事確認 ・利用者の変動、利用状況
ケースアセスメント会議	随時（終礼時）	・利用者情報及びケア内容の共有
サービス担当者会議	随 時	・介護保険更新時、 サービス内容変更時等）
業務運営委員会	毎月1回	・業務改善事項の検討 ・サービス向上の検討
食事検討委員会	年4回	・嗜好状況の報告、検討 ・行事食等の検討 ・完調品導入関連の検討
高齢者虐待防止委員会	年2回	・年間目標設定・研修内容の検討 ・1年間の反省など
感染症防止委員会	年2回	・年間目標設定・研修内容の検討 ・1年間の反省など

3、職員研修状況

（1）事業所外研修

期間	主催	参加	研修名	場所
R6. 6. 19	社会福祉法人山梨県社会福祉協議会	1	中堅職員・チームリーダー研修	市川三郷町生涯学習センター2階研修室
R6. 9. 27	甲州リハビリテーショングループ社会福祉法人寿ノ家	1	ことぶきカレッジ2024 認知症ケアにおけるアンガーマネジメント	地域交流施設大木記念ホール
R6. 11. 1	山梨県老人施設福祉施設協議会	1	次世代委員会研修会	甲府市健康の杜センター「アネシス」
R7. 2. 28	甲府市保健衛生部生活衛生室 医務感染症課	1	令和6年度甲府市介護サービス事業者等感染症対応研修	リッチダイヤモンド総合市民会館（3F大会議室）

（2）事業所内研修

実施日	研修内容	担当・講師等
R6. 5. 20	【個人情報取り扱い・プライバシー保護・衛生管理・職業倫理・接遇・マナー】 【権利擁護研修】	所長
R6. 6. 17	感染対策の基礎知識（食中毒・新型コロナウイルス感染症）	看護職員・サブリーダー
R6. 8. 19	認知症ケア研修	サブリーダー
R6. 9. 17	第57回関東ブロック老人福祉施設研究総会・第12回山梨県老人福祉施設研究総会「合同大会」web視聴	所長
R6. 10. 21	感染症・食中毒蔓延防止に対する考え方と対策	サブリーダー・看護職員

R6. 11. 18	事故防止・事故発生時における取り組み	介護職員
R6. 12. 16	身体拘束・高齢者虐待防止研修	介護職員
R7. 1. 20	非常災害時の対応・防災教育・BCPについて	法人統括防火管理者
R7. 2. 17	ターミナルケアの考え方研修	サブリーダー

4、ボランティア受け入れ状況

実施日	内容
R6. 4. 23	春のコンサート～アンサンブルゆりかご～
R6. 9. 13	ハーモニカ演奏会～金子様、深山様
R6. 9. 16	運動会手伝い 1名
R7. 3. 14～ R7. 4. 9	折り紙など制作レク助手、話し相手、配膳、レク助手など

5、利用者の状況

(1) 行事状況

実施月	行事	実施日	手作りおやつ	実施日
R6 年 4 月	花見会	3 月 27～31 日	もちもち桜餅	4 月 17 日 4 月 18 日
5 月	外出レク (バラ園見学)	5 月 8 日～15 日	若鮎どらやき	5 月 17 日 5 月 18 日
6 月	喫茶レク	6 月 26 日	ずんだ餡のお豆腐白玉	6 月 17 日 6 月 18 日
7 月	七夕飾り・外出レク	7 月 4 日	七夕カルピスゼリー	7 月 17 日 7 月 18 日
8 月	夏祭り	8 月 20 日	たこ焼き	8 月 16 日 8 月 17 日
9 月	敬老会	9 月 16 日	白玉と煮リンゴのバニ ラ添え	9 月 23 日 9 月 24 日
10 月	運動会 ハロウィン	10 月 10 日 10 月 31 日	かぼちゃ餅	10 月 18 日 10 月 19 日
11 月	紅葉行事	11 月 18～22 日	いきなり団子	11 月 13 日 11 月 14 日
12 月	クリスマス会	12 月 25 日	クリスマス カップケーキ	12 月 23 日 12 月 24 日
R7 年 1 月	新年祝賀会	1 月 4 日 6 日	豆腐の白玉ぜんさい	1 月 15 日 1 月 16 日
2 月	節分	2 月 3 日	たこやき器 de ココアホットケーキ	2 月 21 日 2 月 22 日
3 月	桃の節句	3 月 3 日	春色蒸しパン	3 月 17 日 3 月 18 日

※レクリエーション（みそ汁作り、共同制作等）～月替わりで実施。

※誕生日会～当月利用日が近い日に実施。※手作りカレンダー～毎月実施。

※体重測定～月の前半に実施。※防災訓練～年２回実施。※展望浴～随時実施。

（２）要介護度別利用状況

年月日	要支援 １	要支援 ２	要介護 １	要介護 ２	要介護 ３	要介護 ４	要介護 ５	その他	合 計	平均要 介護度
R6.4月	3	26	80	105	95	66	49	4	428	2.74
5月	5	40	70	145	103	75	55	5	498	2.78
6月	4	26	53	146	81	69	43	4	426	2.75
7月	5	31	75	189	88	83	49	4	524	2.67
8月	3	29	62	183	110	78	36	5	506	2.67
9月	4	29	57	174	119	74	37	4	498	2.7
10月	5	31	79	153	119	90	43	5	525	2.72
11月	4	29	72	162	108	90	41	4	510	2.72
12月	4	29	58	143	88	79	43	5	449	2.77
R7.1月	4	19	54	126	90	73	42	5	413	2.8
2月	4	22	54	149	66	80	41	4	420	2.76
3月	3	15	66	177	74	63	43	4	445	
合計	48	326	780	1852	1141	920	522	53	5642	

サテライト尚古園デイサービスセンター



1、利用者生活支援状況（報告）

（1）総括

令和6年度も引き続きご利用者やご家族の協力を得ながら感染症対策を講じた。ご利用者や職員が新型コロナウイルス感染症に罹患することはあったが、感染が拡大することなく運営することができた。

地域に密着した小規模施設として、個々のご利用者の状態や状況に応じて、きめ細やかなケアが行えた事や、地域行事に参加し交流出来た事はご家族から評価を頂けた。

特に今年度は在宅復帰のための緊急利用や、終末期と診断されたケースなどの緊急的な受け入れがとて多かった。そのためご利用期間はそれぞれが1～3ヶ月という短い期間であったが、その時々役割が果たせたと評価している。

年間を通じて安全で安心して楽しめる安らぎの場を提供し、一人一人にあった関わりを行う事と、原則、同性介護を実施できたことで、ご利用者の人権・人間性を尊重する基本理念に基づいた通所介護サービスの提供を行うことが出来た。

（2）利用者生活支援

① 入浴サービス（一般浴・機械浴）

身体状況やご本人に合った入浴方法を考え1対1で関わることを重視しながら、ゆったりした入浴時間を提供出来た。特に同性介護を実施することで、ご利用者のプライバシーへの配慮が出来た。又、着脱や洗身等ご利用者が出来る事は、ご自身で行うよう働きかけを行ってきた。身体状況に応じて特養に併設されている機械浴を利用することで、ご利用者が安全にゆっくりと入浴することが出来た。

② 給食サービス

季節感を味わえるように工夫されたメニューを管理栄養士が作成し提供している。選択メニューや行事食を多く取り入れ、食事がレクリエーションや活動に繋がるケアのひとつとして活用することが出来るよう、自立支援を念頭にサポートしてきた。食事制限のあるご利用者に対する献立の対応や、嚥下や咀嚼状態に応じた食事形態の対応を都度することが出来ており、栄養管理面でのサポートも充実して取り組むことが出来た。

③ 介護サービス

在宅生活が維持出来る事を目標に、ご利用者の身体的、精神的状況に応じた介護サービスを提供した。ご利用者が在宅で生活する為に欠かせない事は、デイでも継続出来るようなアプローチを展開し、過度の介護とならないように状態を的確に把握することに努め、ご家族やケアマネ、協力事業者へも情報提供した。

④ 健康状態の確認

感染症対策を念頭に、ご家族にも健康状態の確認を実施した。状態に変化がみられる場合はご家族へ連絡・報告、受診等の対応をお願いしている。又、ご利用者やご家族の状況に応じて訪問看護との情報共有等を積極的に行い、健康状態を維持することで安定した在宅生活が送れるように努めた。

⑤ 送迎サービス

安全を第一に、個々の状態に合わせて送迎時間等を調整し、独居の方や送迎時にご家族が不在の場合など、個々に対応が違うので生活状況に合わせ、柔軟性のあるサービスで対応してきた。また、定期的に車両の清掃や点検を行い、安全運転に努めたが、ご利用者の身体能力を把握し、状態に合った送迎方法を確実にする事で、安全な送迎を行う事が出来た。また、送迎時のご家族との情報交換を積極的にすすめて、ご利用者の生活支援に繋げている。

⑥ レクリエーション・アクティビティ活動

地域行事として、七夕まつりや信玄公まつり、えびす講まつり等に参加した。感染症対策を行いながら行事を通して地域とのかかわりをもつことができた。デイ内でのイベントや食レクの企画も昨年に引き取り入れることで楽しんで頂けるものとなった。

⑦ 生活相談・援助

送迎時にはご家族に声を掛け、困りごと等がないか話を聞くなど、話しやすい、相談しやすい雰囲気の創出を心がけた。またスタッフ全員で情報共有し、ご利用者が自宅での生活が継続出来、ご家族の不安を軽減出来るよう努めた。ご家族との連携も密にして、ケアする人をケアする役割も果たした。

⑧ 機能訓練

ご利用者一人一人の身体状態に応じた運動やリハビリ効果のあるレクリエーションを多く取り入れ、身体機能の維持や低下を防止する援助を行なうことが出来た。

⑨ その他日常生活全般にわたる介護

ご利用者の生活状況から、送迎時に戸締り、電気、火の元の確認、服薬確認、移乗の介助などを行い、可能な日常生活のサポートを実施することにより、ご利用者及びご家族との信頼関係の向上に繋がり、充実した内容の介護を実践する事が出来た。

2、会議開催状況

会 議 名	開 催 時 期	内 容
スタッフ会議	毎月 1 回	・ご利用者の変動、利用状況 ・業務改善等 ・ A D L 状況の変動、対策等
サービス担当者会議	適宜	・ご利用者のアセスメントとケアプラン作成、及び作成したプランの評価・検討・確認のため、ご本人・ご家族・関係職員で協議した。
食事検討委員会	毎月 1 回	・ご利用者の希望に沿った、より質の高い食の提供を目的とし、献立内容やイベント食等の検討を行い提供した。
運営推進会議	年 2 回	・ご利用者、ご家族、地域住民が参加し、地域の施設としてより良い事業所となれるように協議した。

3、職員研修状況

(1) 事業所内研修（法人研修含む）

期間	内容	発表・講師等
R6.5	権利擁護・職業倫理・個人情報・プライバシー保護 (身体拘束・虐待防止を含む)	所長
R6.6	防災対策・避難訓練	防災担当
R6.7	衛生管理・食中毒予防	管理栄養士/看護師
R6.8	身体拘束・虐待防止	所長
R6.9	防災教育・火災消火訓練	防災担当
R6.10	事故防止・緊急時の対応	介護職員
R6.11	B C P 訓練 感染症及び火災訓練	防災担当
R6.12	認知症ケア	介護職員

R7.2	入浴介助に関する研修	介護職員
R7.2	終末期のケアに関する研修	所長
R7.2	介護サービスにおける職業倫理、個人情報保護、衛生管理等	介護職員
R7.3	高齢者施設における転倒骨折事故予防（伝達研修）	介護職員

（２） 施設外研修

月	研修主催者	研修内容	参加	研修場所
6 月	甲府市介護保険課	集団指導	1	市民会館
11 月	介護福祉士会	高齢者施設における転倒骨折事故予防	1	県立図書館
12 月	中央ほうかつ	顔の見える関係づくり 中央ほうかつ官内交流会	3	勤医協駅前ビル
12 月	山梨病院	食事ケアにおける施設との連携	5	山梨病院

4、ボランティア受け入れ状況

月	参加団体・個人	延べ人数
9～11	第一学院高等学校	15 人
4～3	小学生ボランティア	12 人

5、利用者の状況

（１）行事状況一覧

実施日	内 容	場 所
4 月～5 月	お花見等、外出レク	近隣の公園（散歩等）
6 月～7 月	七夕、外出レク	デイホール 地域行事（銀座通り）
8 月	夏祭り	デイホール
9 月	十五夜・敬老会	デイホール
10 月	ハロウィン	デイホール
11 月	お楽しみ食（握り寿司パフォーマンス）	デイホール
12 月	クリスマス会	デイホール
R6 年 1 月	新年祝賀会	デイホール
2 月～3 月	節分ランチ・ひな祭り	デイホール

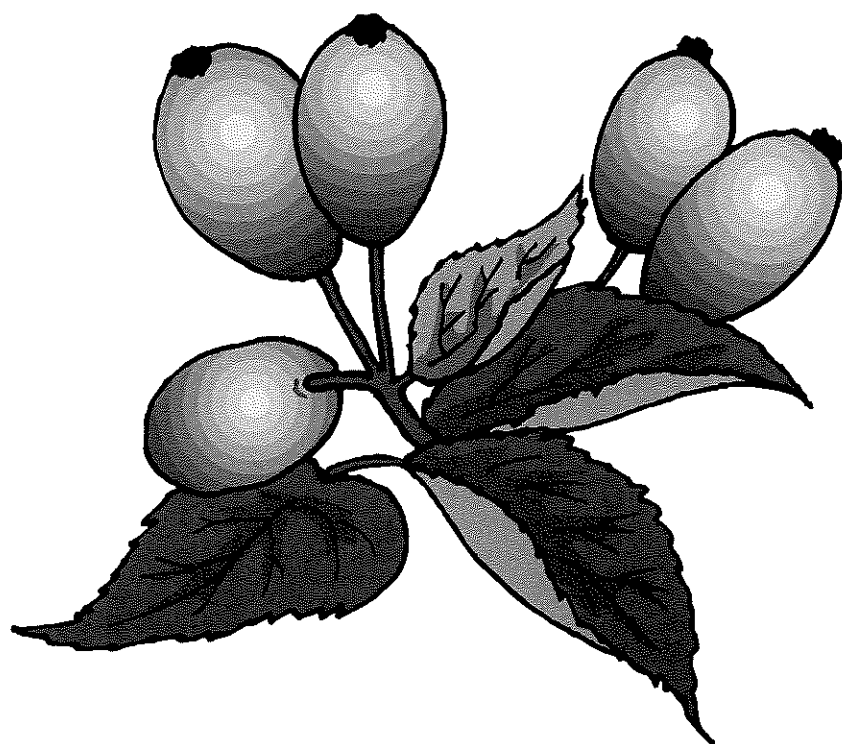
* 上記は主だった行事のみ記載。街中散歩、屋外レクは随時実施

* 誕生日会～毎月 1 日（誕生日食メニュー） おやつ作り～毎月 1 回

6. 介護度別利用状況

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計	平均要 介護度
R6.4月	0	0	10	53	57	14	36	170	3.08
5月	0	0	10	53	71	13	37	184	3.08
6月	0	0	9	46	85	14	28	182	3.03
7月	1	0	9	61	98	12	34	218	3.00
8月	1	0	9	58	104	18	40	233	3.10
9月	1	0	8	50	79	2	34	176	3.02
10月	1	0	9	26	78	0	41	158	3.25
11月	1	0	10	30	124	0	36	204	3.11
12月	1	0	11	42	94	0	36	187	3.04
R7.1月	1	0	12	49	65	0	24	153	2.83
2月	1	0	10	49	47	27	11	148	2.86
3月	1	0	12	59	17	26	6	124	2.63
合計	9	0	119	576	919	126	363	2137	3.00

グループホーム山径



1. 利用者生活支援状況（報告）

＊利用者様を大切に、笑顔で楽しく過ごせるホーム作りを行う。

職員間で利用者様の対応について振り返りを行ったり、勉強会等行ったりすることで、更なる接遇の向上に努めた。

自立支援を促し、共同作業（調理補助、食器拭き、洗濯、掃除等）を行いながら、日々の関りや会話を大切にして、利用者様、職員共に笑顔で過ごせるような雰囲気作りに努める事が出来た。

＊通所の方々とも交流することにより、日々の生活が豊かになるような関係を作る。

その方に合った食事を提供し、日々のレクリエーションや楽しみを提案し、活性化に繋げる事が出来た。

食事面では、随時スタッフ間で情報共有し、その時の状態に合った形態で提供する事が出来た。又、行事や季節にちなんだ献立、誕生日等には好みの食べ物を提供する事も出来た。

日々のレクリエーションについては、メニューリストを作成し、頭を使うレク、手先を使うレク、体を動かすレク等、内容が被らないよう実施する事が出来た。季節の行事等は、事前の準備から入居者様に参加して頂き、楽しむ事が出来た。

＊感染症対策の徹底を図り、健康で安全に過ごせる環境を提供する。

その人らしさを大切に、健康を保ち、安心して安全な環境を提供すると共に、感染症対策の徹底を図り入居者様が感染症を患う事なく過ごす事が出来た。感染症に職員2名が罹患したが、自宅療養する事で、入居者様や他の職員に発症は無かった。又、日々の様子観察から体調変化に気付く事が出来、往診医やご家族様との連携も取れていた。感染対策を実施しルールを守って頂くことで、居室内での面会は継続する事が出来た。

＊地域の一人である事を意識し、交流の機会を利用していく。

お正月に獅子舞を地域の方が山径ホールで披露して下さる事があった。運営推進会議では、山径の活動状況の報告行う等、地域代表者との関りは保つ事が出来た。又、いきいきサロンに参加し、徐々にではあるが交流を図る事が出来た。

〈 総括 〉

今年度も感染症が各方面で流行し、職員が罹患する事もあったが、入居者様への感染は無く過ごせたことは良かった。体調不良や持病の進行により2名の方が他施設（病院）に移り、看取りをした方が1名いた為、計3名が退所された。看取りについては、方針や対応についてご家族と情報や意向を共有し、穏やかな看取りを行うことが出来た。ご逝去される前日には、佐賀県の施設から長男様が来所し、念願であった兄弟で面会する事が出来た。整容や環境を整える等きめ細やかなケアの提供も出来た。

日々の変化に気づき観察する視点や、入居者様に合わせた対応、状態把握に努め、早期発見・早期対応を行い、往診医と連携しながら体調管理に努め、安心して安全な生活に結びつけることも出来た。

室内で行える行事や食べ物レク等に力を入れ、楽しんで頂けるよう工夫し実施する事が出来た。又、感染状況を鑑みながら、外出や屋外でのレク等も随時実施出来た。生活の場として入居者様が生き生きと暮らし、ご家族・入居者様のニーズに応えられる様、職員一丸となり取り組むことが出来た。

2、会議開催状況

会議名	開催時期	備 考
リーダー会議	毎月 1 回	利用状況、業務改善等
スタッフ・ケース会議	毎月 1 回	利用状況、業務改善等
身体拘束適正化会議	3 ヶ月に 1 回	利用者状況、支援内容等
ご利用者・スタッフの話し合い	随 時	数回実施（状態変化等）

3、年間行事

年 月 日	内 容	場 所	利用者数	ご家族数
R6. 4/1	花見お茶会	山径玄関前	9 名	0
4/4	ドライブ	武田神社	5 名	0
5/6	かしわ餅作り	山径ホール	9 名	0
5/10	ドライブ	千代田湖	2 名	0
5/15	ドライブ（バラ園鑑賞）	県立美術館	9 名	0
6/14	パンバイキング	山径ホール	9 名	0
7/8～11	七夕飾り鑑賞	銀座通り	9 名	0
7/26	スイカ割り	山径ホール	9 名	0
8/22	夏祭り	山径ホール	9 名	0
9/13	ハーモニカ演奏会	尚デイホール	8 名	0
9/16	敬老祝賀会	山径ホール	8 名	0
10/23	運動会	山径ホール	8 名	0
11/5	鍋パーティー	山径ホール	8 名	0
12/2	ドライブ	愛宕山	7 名	0
12/20・25	クリスマス会	山径ホール	9 名	0
12/26、27	餅つき会、鏡餅作り	山径ホール	9 名	0
R6. 1/1	新年祝賀会	山径ホール	9 名	0
1/12	獅子舞	山径ホール	9 名	0
1/21	鍋パーティー	山径ホール	8 名	0
1/15	繭玉作り	山径ホール	9 名	0
1/17	ドライブ	武田神社、千代田湖	6 名	0
2/3	節分会	山径ホール	8 名	0
2/14	ドライブ	愛宕山、武田神社	3 名	0
2/24	パンバイキング	山径ホール	9 名	0
3/3	ひな祭り	山径ホール	8 名	0
3/27	花見会	山径ベランダ	9 名	0

4、職員研修状況

(1) 施設外研修：デイサービス山径共通

年月日	主 催	研 修 名	参加者	場所

(2) 施設内研修（法人研修含む）：デイサービス山径共通

年月日	内 容	発表・講師等
R6. 6. 24	感染症について（特養合同）	特養看護師
R6. 7. 23	防災 BCP 教育（講義）	GH介護職員
R6. 8. 30	口腔ケアについて	特養：管理栄養士
R6. 9. 25	身体拘束解消・虐待防止について	GH介護職員
R6. 10. 23	感染症 BCP（机上訓練）について	GH介護職員
R6. 11. 20	認知症高齢者のケアについて	GH介護職員
R6. 12. 19	人権擁護、身体拘束解消・虐待防止について	GH介護職員
R7. 1. 29	事故防止・入浴手順と注意点について	GH介護職員
R7. 2. 21	ターミナルケア・褥瘡予防について	GH介護職員
R7. 3. 12	事故防止（誤薬）について	GH介護職員
R7. 3. 19	感染症 BCP（感染対策、ガウンテクニック）	GH介護職員

5、利用者の状況

(1) 年齢

年齢	70～79 歳	80～89 歳	90～99 歳	100～109 歳
人数	0	2	7	0

最高年齢・・・99 歳
 最低年齢・・・86 歳
 平均年齢・・・92.33 歳

(2) 要介護度 平均介護度・・・2.89

要介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
人数	1	2	4	1	1

(3) 要介護度の変化状況

介護度の変化状況	人数	介護度の変化状況	人数
1 → 3	1	3 → 5	1

(4) 入退所の状況

	男	女	計
入所者数	1	2	3
退居者数	2	1	3
入所前状況	自宅・・・3 名		
退所理由	特養入所：1 名、病院転院（看取り）：1 名、ご逝去：1 名		

(5) 外泊状況

外泊者：0 名

(6) 入院状況

入院者：1 名

(7) 面会状況

年 月	面 会 件 数	年 月	面 会 件 数	年 月	面 会 件 数
R4. 4 月	5	8 月	11	12 月	13
5 月	10	9 月	4	R5. 1 月	10
6 月	9	10 月	8	2 月	8
7 月	6	11 月	9	3 月	16

6、運営推進会議の開催

第一回 運営推進会議 令和5年5月27日（月）14：00～

参加 ・和田町自治会代表1名・北東包括支援センター1名・有識者1名
・所長・介護サブリーダー・山径入居者代表

議題 ①入居者の生活状況とADL・サービスの状況 ②活動状況の報告 ③花見会の様子について
④令和5年度事業報告、令和6年度の事業計画について ⑤その他

第二回 運営推進会議 令和5年7月29日（月）14：00～

参加 ・北東包括支援センター1名・有識者1名・ご家族代表者
・所長

議題 ①入居者の生活状況とADL・サービスの状況 ②活動状況の報告 ③昼食バイキングの様子について
④研修会実施報告 ⑤その他

第三回 運営推進会議 令和5年9月24日（火）14：00～

参加 ・和田町自治会代表1名・北東包括支援センター1名・ご家族代表者
・所長・介護サブリーダー

議題 ①入居者の生活状況とADL・サービスの状況 ②活動状況の報告 ③夏祭りの様子について
④研修会実施報告 ⑤その他

第四回 運営推進会議 令和5年11月27日（水）14:30～

参加 ・和田町自治会代表1名・北東包括支援センター1名・有識者1名・ご家族代表者
・所長・介護リーダー

議題 ①入居者の生活状況とADL・サービスの状況 ②活動状況の報告 ③運動会の様子について
④研修会実施報告 ⑤その他

第五回 運営推進会議 令和6年1月29日（水）14:00～

参加 ・和田町自治会代表1名・北東包括支援センター1名・有識者1名・ご家族代表者
・所長・介護リーダー

議題 ①入居者の生活状況とADL・サービスの状況 ②活動状況の報告 ③クリスマス会の様子について
④研修会実施報告 ⑤改修工事について ⑥その他

第六回 運営推進会議 令和6年3月26日（水）14:00～

参加 ・和田町自治会代表1名・北東包括支援センター1名・有識者1名・ご家族代表者・利用者様代表
・所長・介護リーダー

議題 ①入居者の生活状況とADL・サービスの状況 ②活動状況の報告③パンバイキングの様子について
④研修会実施報告 ⑤年度のまとめ ⑥その他

デイサービスセンター山径



1、利用者生活支援状況（報告）

（１）総括

コロナやインフルエンザ等の感染症については、今年度も気が抜けない状況が続き、これまで通りの感染予防対策の徹底を図りながら支援を行った。職員が罹患する事があったものの、利用者様には発症者なく、ご家族の協力もあり、継続してデイサービスを利用して頂ける事が出来た。

又、体操やレク活動、軽作業（調理補助、食器拭き、洗い物、洗濯物等）行い、心身の機能が活性化出来る支援を行えた。

ご利用者の個々の状況を的確に把握し、柔軟な対応を心掛け、必要に応じて送迎時に家の中の支援を行いながら、ご家族の負担軽減にも努める事で、少なからず在宅生活のサポートが出来たと思われる。

（２）利用者生活支援

① 入浴サービス

健康状態をチェックし、ご利用者の状態を把握。安全にゆっくりと個々のペースでの入浴が実施出来た。皮膚の状態等、こまかな状態変化にも気付くことができ、ご家族やケアマネと情報を共有し、早期に対応実施する事が出来た。

② 給食サービス

五感を刺激しながらの食事作りの中で、食事への楽しみが生まれ、食欲増加へと繋がった。特別食として、誕生日にはその方の好きな物を提供し喜んで頂けた。お楽しみランチを実施したり、外注にてお寿司を購入したりし、普段とは違った食事を楽しんで頂き、また、季節を感じて頂けるような旬の物を使用した献立も好評であった。

③ 介護サービス

グループホームの特性を生かして、「通所介護計画書」を作成。家庭での延長と位置付け、介護計画書に添って日常生活動作の中でサービスを提供した。ご家族のニーズに合わせ、利用時の IADL や精神的状況をお伝えすることで、受診の際の日常生活の様子報告にも対応が出来た。

④ 健康状態の確認

バイタルチェック、体重測定（月１回）、随時身体チェックを実施。普段と状態に変化がある場合はご家族へ連絡、報告し受診等の対応をお願いしている。又、ご利用者、ご家族、ケアマネからの相談により、個人持ちの薬の管理や手当てのサポートなど、出来る範囲でのアドバイスを行った。

⑤ 送迎サービス

ご利用者が安心して乗車出来るよう、定期的に車の清掃や点検を行い、安全運転に努めた。

感染対策として、検温の実施や車内の空調に配慮、消毒の実施を行った。送迎の時間を利用して、ご家族との情報交換に努め、信頼関係等を深めることが出来た。

⑥ レクリエーション・余暇活動

ドライブ、外気浴、イベント食など、季節の移り変わりを感じることが出来るよう企画に工夫した。

又、昼食の準備や食器の片づけ、洗濯物を干す、たたむ等の作業を実施し、役割を持つ意識を高め、自宅で行えている事が継続出来るように努めた。「脳トレ」を定期的に取り入れ、一人一人の持てる力を見極めながら実施する事が出来た。

⑦ 生活相談・援助

日頃の会話の中やケアマネからの情報提供、送迎時のご家族との会話などから、ご利用者やご家族の不安や心配ごとを読み取れるように留意し、気を配るようにした。

担当ケアマネとの情報の共有を行い、一体的な生活のサポートを行えるように、毎月ご利用者の状況や生活に支障がある事などを適宜報告し、より充実したサポートを実施することが出来た。

⑧ その他日常生活全般にわたる介護

ご利用者の生活状況から、必要に応じてライフラインの確認や戸締り、鍵や衣類の管理、服薬支援や洗濯等を行い生活へのサポートも行った。

2、会議開催状況

会議名	開催時期	備 考
リーダー会議	毎月 1 回	利用状況、業務改善等
スタッフ・ケース会議	毎月 1 回	利用状況、業務改善等
ご利用者・スタッフの話し合い	随 時	数回実施（状態変化等）

3、ボランティア受け入れ状況（グループホーム山径共通）

個人・グループ数	年間延べ人数	内容
0 人	0 人	

4、利用者の状況

(1) 行事状況一覧

年 月 日	内 容	場 所	利用者数
R6. 4. 1	花見お茶会	山径玄関前	2 名
5. 6	かしわ餅作り	山径ホール	2 名
5. 15	外出レク	県立美術館	1 名
6. 14	パンバイキング	山径ホール	2 名
7. 8	外出レク（七夕飾り鑑賞）	銀座通り	2 名
8. 22	夏祭り	山径ホール	3 名
9. 16	敬老祝賀会	山径ホール	2 名
10. 23	秋季運動会	山径ホール	3 名
11. 13	ほうとう作り	山径ホール	3 名
12. 20	クリスマス会	山径ホール	3 名
12. 26	餅つき	山径ホール	2 名
R7. 1. 21	鍋パーティー	山径ホール	2 名
2. 3	節分会	山径ホール	2 名
2. 24	パンバイキング	山径ホール	2 名
3. 3	ひな祭り	山径ホール	2 名

*誕生日会～月ごと（行事食メニュー）

*防災訓練～年 2 回

(2) 要介護度別利用状況

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	平均要 介護度
R6. 4月	0	0	13	29	0	0	0	42	1.80
5月	0	0	11	31	0	0	0	42	1.80
6月	0	0	11	28	5	0	0	44	2.00
7月	0	0	14	22	3	0	0	39	2.00
8月	0	0	13	31	13	0	0	57	2.17
9月	0	0	13	28	5	0	0	46	2.17
10月	0	0	12	32	18	0	0	62	2.17
11月	0	0	12	32	13	0	0	57	2.29
12月	0	0	17	23	14	0	0	54	2.17
R7. 1月	0	0	16	20	14	6	0	56	2.50
2月	0	0	16	19	13	7	0	55	2.50
3月	0	0	15	7	29	7	0	58	2.67
合 計	0	0	163	302	127	20	0	612	2.19

尚古園指定居宅介護支援事業所



尚古園指定居宅介護支援事業所

実 施 内 容

1. 介護等の相談の受付・連絡・調整
2. 介護保険更新申請等の書類の代行申請
3. ご利用者の心身の状態の把握やご家族の介護状況・生活の様子を確認
4. ご利用者・ご家族・介護サービス事業者・その他関係機関との連絡・調整
5. 居宅サービス計画の作成
6. 給付管理の実施
7. 介護、医療、福祉サービスの利用状況の確認
8. 福祉・医療機関などとの連携
9. 委託された介護保険認定調査の実施
10. 地域貢献に関わる事項

1、重点目標

- ① 甲府市の定める基準に則り、適正なマネジメントを実施していく。
居宅介護支援における運営基準をもとにケアマネジメントを実施し運営指導も実施された。
- ② 運営基準上必要な体制の整備、マニュアルや計画書等の書類の整備、関連する研修会等へ参加しながら、適正な事業所運営を目指す。
介護保険制度に定められた整備が必要なマニュアル等書類の整備し必要な研修も実施してきた。
- ③ 社会福祉法人の運営する事業所として行政や地域の関連機関、また、法人内事業所等と連携し協力しあっていく。
地域包括支援センターや行政機関またサービス提供機関等と連携しご利用者やご家族等にとってより良い課題解決となることを目指しケアマネジメントに取り組んできた。
- ④ ご利用者やご家族の介護上のニーズ（必要性や要望）に幅広く応えられるよう、介護保険制度のほか支援に必要な各種制度の知識・理解を深め、実践力を高めていく。
介護支援専門員協会や行政機関や包括視線センター等の主催する研修会などへ積極的に参加し広く知識を得るよう努めてきた。

総括

制度改正により整備が必要なマニュアルや研修の実施など重点的に取り組んできたが今後も継続する内容である。ご利用者の状況としてはご家族からの支援が得にくい状況も増大してきている。身体的状況以外に経済的状況や親族関係者を含む社会的状況など課題が複雑に絡みあうケースが増加傾向にあり、それらの課題解決にあたっては、これまで以上に介護支援専門員の関わりや調整が重要になっていると感じられる。

2、給付管理など実施状況

(項目)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
給付管理	68	67	70	70	72	70	70	70	70	57	41	40	765	63.8
委託予防	15	13	11	12	12	13	13	12	11	11	10	7	140	11.7
計	83	80	81	82	84	83	83	82	81	68	51	47	905	75.4
認定調査	2	0	3	2	2	2	2	1	2	2	3	1	22	2

3、研修やその他の事業等への参加状況

年 日	主な研修会や説明会等への出席状況
2024/6/4	山梨県介護支援専門員協会通常総会副議長、(打ち合わせ：5/18 議事運営委員会実行委員会準備委員会、他)
2024/6/6	ケアマネの会北東、事例検討会。北東公民館にて開催。緊急時の対応(心肺蘇生・AED等)
2024/6/10	甲府市居宅介護支援事業者集団指導の実施 甲府市総合市民会館 1階 芸術ホール甲府市青沼3-5-44
2024/7/5	「ヤングケアラー研修会」講師の田中悠美子先生 甲府市役所本庁舎4階 大会議室
2024/7/16	令和6年度甲府市顔の見える関係づくり交流会「身寄りがない方への意思決定支援のあり方～専門職の立場からどのような支援ができるのかを考える～」 山梨県立図書館 イベントホール(北口2丁目8-1)
2024/8/21、 28、9/3、10	介護支援専門員更新研修
2024/8/23	第三者委員会、
2024/10/2	甲府市北東地域ケアマネジャー交流会、高齢者虐待における連携について、の内容、 北東公民館2階、
2024/10/10	尚古園指定居宅介護支援事業所、運営指導、9:30～12:30
2024/11/7	ケアマネの会北東、事例検討会、北東公民館にて開催
2024/11/12	介護支援専門員協会：地域連携研究大会、富士ハイランドリゾート
2025/1/22	令和6年度 ひきこもりサポーター研修会：生活衛生室精神保健課主催 リッチダイヤモンド総合市民会館 3階 大会議室
2025/2/3	主任介護支援専門員交流会：「ヤングケアラー支援について学ぼう」 講師：一般社団法人ケアラーワークス代表理事：田中悠美子殿、 場所：ジットセレモニー甲府ホール、(打ち合わせ：11/20、1/16、他)
2025/2/18	施設ケアマネ居宅ケアマネ合同研修会、(カスタマーハラスメントに関する知見) 男女共同参画推進センター：ぴゅあ総合2階：甲府市朝気1丁目2-2、
2025/2/21	BCP策定後の研修及び訓練に関するセミナー： 2025年2月3日(月)～2025年2月21日(金)：YouTubeでの動画配信

2025/2/26	山梨県介護支援専門員協会：施設居住系部会研修会：研修会 山梨県医師会館 1 階：多目的エリア：甲府市徳行 5-13-5：Tel055-222-1661（打ち合わせ：10/29、11/29、1/17、他）
2025/2/28	第三者委員会：2 月 28 日 16：00～
2025/3/17	北東包括支援センター主催：顔の見える関係づくり交流会 「地域づくり、地域福祉を考える」：講師：山梨県立大学人間福祉学部福祉コミュニティ学科：高木寛之教授、県立図書館 1 F イベントスペース
月 1 回	山梨県介護支援専門員協会甲府支部運営委員会

令和 6 年度事業報告書

社会福祉法人 善 隣 会
理事長 廣 瀬 朱 實

〒400-0001 山梨県甲府市和田町 2948 番地の 6

TEL 055-253-7231 FAX 055-253-7228

<https://www.zenrinkai.or.jp>

E-mail honbu@zenrinkai.or.jp

令和 7 年 5 月発行